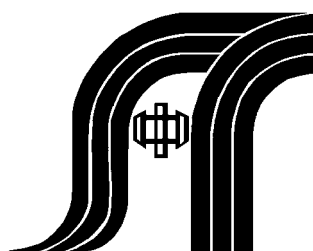


令和3年度

横浜市立深谷中学校

学 校 説 明



目 次

- ① 深谷中学校ブロック全体計画構造図
- ② 教職員・生徒数（2021.4.29現在）
- ③ 教職員一覧
- ④ カリキュラム・時間割
- ⑤ 3年間の主な行事
- ⑥ 日課校時表
- ⑦ 生活指導について
- ⑧ 評価評定について
- ⑨ 各教科評価計画

令和3年度 横浜市立深谷中学校ブロック全体計画構造図

日本国憲法
教育関連法規
学習指導要領
横浜版学習指導要領

教職員の願い
○思いやりの気持ちや豊かな感性の教育
○教科の基礎基本の充実
○団体生活・社会生活のルールを身につける
○少人数において、行き届いた指導
○善悪の判断のできる児童・生徒

児童・生徒の願い
○内容の分かる授業の展開
○興味のある内容をより深められる学習形態
○宿泊行事や校外学習の企画実践
○物事に意欲的な活動

保護者やまちの願い
○思いやりの気持ちや豊かな感性を育む教育
○団体生活・社会生活のルールを見につける教育
○個性を尊重した、行き届いた教育
○意欲的に物事に参加し、最後までやり抜く力を身につける
○自分で問題を解決しようとする力を身につける教育
○自分の意見を発言できる力の育成
○創意工夫が生かされる学校、本音で話し合える「開かれた学校」

小学校教育目標
○横浜深谷小学校
○深谷小学校
○大正小学校

小学校教育目標
○自ら学び ふれあい 互いの思いを認め合いながら 深谷中ブロックの子
○「自ら学ぶことのできる」資質・能力の育成により、学力向上を推進。
⇒「わかる」授業の実践；授業参観や研究会への参加
○「互いの思いを認め合える」資質・能力の育成により、良い人間関係の醸成を推進。
⇒Fph理念の共有、小中の情報交流；専任や小6と中1の学年職員との交流
○「つながり合える」資質・能力の育成により、自己肯定感・自己有用感を高める。
⇒「あいさつ」ができる子どもにする。「深谷のまち」全体で取り組む。

中学校教育目標
「健康・自主・実践・愛」
心身を鍛え、自ら思いをもって、生き抜く！

小学校
○「分かる授業」「楽しい授業」「集中できる授業」を展開するために、学びの集団や空間の多様化を進め、課題解決に向けて粘り強く取り組む姿勢を育てます。(知)
○正しく善悪を判断し、社会のルールを守る規範意識や礼儀を大切に育て、自分と同じように、相手を尊重する心や態度を育てます。(徳)
○心と体の健康を守ることに関心をもち、望ましい生活習慣を身に付け、自ら進んで健康づくりに取り組む姿勢を育てます。(体)
○深谷っ子を共に育てる会、学援隊、地域敬老者との交流、保護者ボランティアの活動などを充実させ、地域に愛着をもてる子を育てます。「安全教育」「情報教育」「食教育」などを重点に、様々な現代的課題に対応できる力を育てます。(公・開)

中学校
○自らの生き方を切り拓き、創り出すことのできるよう基礎・基本の充実をはかり一人ひとりの子どもにニーズに対応した学習内容に取り組みます。(知)
○生命を大切にすることを養い、仲間との交流を深め、思いやりの心を豊かにする体験的な学習に取り組みます。(徳・体)
○子どもたちが持つ自律心、自立する力を支援するために、道徳・人権・環境・福祉教育の充実を進めます。(徳・公)
○子どもたちが社会の一員として、学校・家庭・地域とのふれあいを深めるとともに、国際性豊かな力を育むために、国際理解教育の充実を進めます。(開)

具体的な取り組み目標

学年	知	徳	体	公	開
1・2年	○身近な人々と進んで関わり、自分も相手も大切に育てる。 ○規則正しい生活習慣を身につけ、分からないことや困難なことにもねばり強く取り組む子を育てる。				
3・4年	○身近な地域・自然・人と進んで関わり、お互いを認め合い、ともに成長できる子を育てる。 ○目標に向かって、自ら考え、ねばり強く行動できる子を育てる。				
5・6年	○地域・自然・人と積極的に関わり合いながら、互いのよさを認め合い、相手の立場を考えられる子を育てる。 ○自分を高めるために目標をもってよく考え、どんなことにも粘り強く取り組む子を育てる。				

学年	自主(知)	愛(徳)	健康(体)	実践(公・開)
個別支援学級	将来の社会的自立に向けて必要な、基礎学力の定着や、生活技術の向上を図り、自ら考え行動できる力を育みます。	・周囲の人との関わりを通して、自他の個性を発見し、思いやりの心を育てます。 ・自分の良さを発揮し、自己実現できる力を育みます。	・健康の在り方や体力の保持増進の学習を通して、逞しく健やかに生活できる力を育みます。	・様々な交流を通して情緒の安定を図り、豊かな人間関係を築く力を育みます。
1学年	学習活動に興味・関心を持って主体的に取り組む、自己表現ができるように育てます。	・自分を知ることや、自然の美に触れることから、豊かな心を養います。 ・友人・家族との関わりから、自他の良さに気づく心を養います。	・健康や心身の成長について理解できるようにします。 ・身近な環境に興味を持ち、環境整備ができるように育てます。	・自己を知り、周囲を知ることにより、自分の夢を豊かにする心を養います。 ・集団生活で、ルールの必要性を感じる心を養います。
2学年	自主的に学習活動にとり組み、学力の向上を目指すように育てます。	・他人の心の痛みや生命の大切さを理解し、豊かな人間関係を築いて行こうとする心を育てます。 ・集団生活を通して、互いに認め合い、協力しあう心を育てます。	・心身の健康に注意し、目標を持って生活できるようにします。 ・身近な環境について考え、より良く生活するための方法を実行することが出来るように育てます。	・自らの良さや可能性を知り、それらをより大きくのびていこうとする心を育てます。 ・社会性を身に付け何事にも責任感を持って進んで取り組む心を育てます。
3学年	自らの可能性を知り、情報を適切に選択活用し、自分らしさをのびせようとする生徒を育てます。	・集団生活の中でルールの必要性を感じたり、自分の役割を果たす責任感や他者を思いやる心を育てます。	・自然や生命・豊かな文化にふれる体験的な学習や、安全や健康の保持増進のための学習環境を整えていきます。	・地域社会に広く目を向け、その一員として福祉的な活動の積極的な実践をすすめます。

	小学校	中学校
国語	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに思考力や想像力及び言語感覚を養う。	豊かな言語活動と思考力や創造力を養い、コミュニケーション能力の向上をめざす。
社会	社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てる。	社会の変化や我が国・世界の歴史や地理に対して興味関心を持ち資料を使ってさまざまな角度から考察できる力を養う。
算数・数学	数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てる。	数量・図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを進んで活用する態度を育成する。
理科	自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てる。	自然に対する関心を高め、科学的に調べる能力や見方・考え方を育成する。
生活	生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。	
音楽	表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てる。	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽への興味関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいこうとする態度や心を育成する。
図工・美術	表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わう。	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい、感性を豊かにし、美術を愛好する心情を育てる。美術の基礎的な能力を伸ばし、豊かな情操を育成する。
保健体育	心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。	運動や健康・安全についての理解と実践を通して、競争や協同などの豊かなかかわり合いをもてるように支援する。自己の状況を確実につかみ、意欲を持って課題実現のために工夫した取り組みができるよう支援する。
技術・家庭	日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。	生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、自立した生活が営める能力の育成をする。
外国語・英語	外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。	基礎・基本の定着とコミュニケーションを積極的にとろうとする態度の育成をする。
道徳	学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う。	人との触れ合い、共に生きることの大切さを具体的な事例を通して学び、よりよく生きるための道徳的実践力を育てる。
特別活動	心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。	各種生徒会活動への参加を通して自主性・協調性のある個人及び自治的な集団を育成する。
総合的な学習	自ら課題を捉え、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。	体験的な学習展開を通して、自ら学び・自ら考え・課題発見・解決力の育成をする。
人権教育	思いやりの心をもち、誰とでも仲良くできる子を育てる教育活動を推進する。	一人ひとりの人間を大切に、差別や偏見を見抜き、人権を守るために行動できる生徒を育成する。
福祉教育	地域に住む高齢者との交流を通して、これからの福祉社会のあり方に関心をもてるようにする。	社会福祉のあり方を学び、福祉活動やボランティア活動を積極的に実践する。
国際理解教育	日本の文化のよさを知るとともに、いろいろな外国の文化を知り、認め、国際性豊かな児童を育成するようになる。	異文化理解の中から、他者との関わる上での相互の多様性を知り、寛大な心で広い社会の中を生きる態度を育む。
特別支援教育	一人一人が自己実現を図り、生きる喜びを実感しつつ社会の一員としての成長・発達を図るための教育活動を推進する。	支援を必要とする子どものニーズに応じた教育活動を実践する。
環境教育	自分たちが生活する環境状況を理解し、環境問題に対して積極的に課題解決に取り組むようにする。	環境問題に関心を持ち、身近な問題として取り組み、恵まれた自然を守っていこうとする心を育成する。
情報教育	情報の適切な活用を通して、子どもの人間関係を広げ、深めるようにする。	情報を適切に活用する基礎的な能力を育成する。

6つの重点課題	小学校	中学校
①豊かな心の育成	自他の人権を尊重し、思いやりのある心を育てます。	・人間尊重・道徳教育・伝統文 ・あいさつ運動の実施
②健康でたくましい体の育成	心身の健康に関心をもち、健康管理をしたり、運動に親しんだり、体力向上をめざしたりできるようにします。	・体力の向上 ・食生活の充実
③国語力及び学習の基礎的な能力の育成	各教科を通じて学習の基礎となる基礎的・基本的な知識・技能の習得に努め、活用する力を育てます。	・言語活動、読書のすすめ ・外国語教育 ・学力向上、理数教育の充実
④コミュニケーション能力の育成	自己表現と他者理解の基礎・基本を身に付けさせ、コミュニケーション能力の育成を図ります。	・人間関係力 ・社会的なスキル
⑤情報社会を生き抜く能力の育成	情報手段を適切に活用するとともに、自分にとって必要な情報を、責任をもって収集・選択・発信・管理できる力を育てます。	・情報モラルの向上
⑥社会の変化に対応する能力の育成	体験活動や人との交流を通して、社会の変化に応じて必要となる知識・技能を習得し、実際の生活や学習に活用する力を育成します。	・社会変化への対応力 ・地域行事への参加を通して、まちを愛し、見つけ、生き方を学ぶ

幼稚園・保育園との連携・協力
○生活科の学習での交流
○入学前の教師間による情報交換
○初任者研修での体験研修

地域との連携・協力
○深谷っ子とともに育てる会及び民生委員、主任児童委員の学校訪問、授業参観、情報交換
○学援隊、安全パトロール隊による登下校時の見守り活動

4つの具体的な目標	小学校	中学校
①読解力の向上	「音読カード」「読書タイム」を活用し、音声言語表現、読解力向上を図ります。	・国語科を中心に、読書を通して、言語能力の向上に努める
②小中学校英語教育の推進	「YICA」では、「聞く 話す」を中心に、進んでコミュニケーションをしようとする態度を育てます。	・9年間を見通したカリキュラムを作成し、英語科との連携を図りながら、英語教育の向上をめざす
③一人ひとりのニーズに対応した教育の実現	必要な児童のために特別支援カリキュラムを作成し、チームを組んで、子どもの支援を図ります。PTAとの協力体制を図ります。	・子どもたち一人ひとりに合った教育を推進する ・特別支援教育と連携しながら、より良い教育を実現する
④横浜の時間の創設	環境教育等、身近な課題を粘り強く追究し、得た知識・技能を友だちと共有しながらともに高まる子に育てます。	・国語科と連携をとりながら、言語能力の向上を計る時間とする

常に学校評価・自己評価をもとにして、見直しと改善を加えていく。

令和3年度 編成（教職員・生徒数）

1、教職員

職名	校長	副校長	主幹教諭	教諭	養護教諭	臨時任用教諭	非常勤講師	学校司書	学校事務	技能職員	業務アシスタント	AET	スクールカウンセラー	小計	校医・薬剤師	総計
男	1	1	4	6		2	2			1		1		18	3	21
女			1	9	1	1	2	1	1	1	2		1	20	2	22
計	1	1	5	15	1	3	4	1	1	2	2	1	1	38	5	43

2、生徒数

学年	組	人数		
		男子	女子	合計
1	1	16	20	36
	2	17	20	37
	3	16	20	36
	5	3	1	4
	6	0	0	0
	合計	52	61	113
2	1	14	17	31
	2	14	17	31
	3	14	17	31
	4	14	17	31
	5	2	0	2
	6	2	0	2
	合計	60	68	128
3	1	13	19	32
	2	13	19	32
	3	14	18	32
	4	13	19	32
	5	2	0	2
	6	1	0	1
	合計	56	75	131
全校合計		168	204	372
5, 6組	5	7	1	8
	6	3	0	3
	合計	10	1	11

令和3年度 横浜市立深谷中学校

学年所属

学校長：榎田 卓央

副校長：天辰 庸介

	第1学年	第2学年	第3学年
学年主任	笠井 清隆	田山 良一	葛西 康子
1組	三浦 智之	杉山 梓	丸山 準子
2組	長浜 翼	八木 海里	松村 奈々子
3組	赤木 麻衣子	伯耆 建吾	竹生田 恵美
4組	*****	内藤 尚美	樋口 匠衛
5・6組（個別支援）	寺田 清華	岩吉 真	岸部 宜文
副担任	新藤 麻奈美	原 直樹	鈴木 美恭
副担任	遠藤 真衣	*****	井田 真寛
教務主任	原 直樹		
生徒指導専任	井田 真寛		
進路指導主任	葛西 康子		
特別支援コーディネーター	海老原 千恵 井田 真寛 寺田 清華 田山 良一		
非常勤講師	山本 徹 橋本 沙奈絵 桑原 忠司 篠原 久美子		
初任者指導教員	赤堀 国和		
養護教諭	海老原 千恵		
学校司書	武田 真由美		
事務職員	梶原 由紀子		
AET	シヨーン ルーク		
スクールカウンセラー	栗飯原 なお子		
技能職員	星野 聡 佐藤 美加		
業務アシスタント	大坪 真理子 矢島 正美		

教科別 学年担当

教科	第1学年	第2学年	第3学年
国語	新藤	杉山	橋本
社会	長浜	八木	葛西
数学	三浦	内藤	井田 三浦 鈴木 内藤
理科	赤木	田山	桑原
音楽	丸山		
美術	樋口		
保健体育	竹生田 伯耆 遠藤		
技術・家庭	鈴木 篠原 山本		
英語	笠井	原	松村

令和3年度 カリキュラム

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技・家	英語	道徳	特活	総合	合計
第1学年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
第2学年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
第3学年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

50分を1単位として計算します。

年間を通して140単位ある教科は、週に4回、授業のある教科となります。

〃 35単位ある教科は、週に1回、授業のある教科となります。

時間割について

行事等で授業時数調整のための授業変更が行われます。毎月の学年だよりでご確認ください。

日課校時表

	5校時	6校時
登校	8:40	
学活・読書	8:40 ~ 8:50	
1	8:55 ~ 9:45	
2	9:55 ~ 10:45	
3	10:55 ~ 11:45	
4	11:55 ~ 12:45	
昼食	12:50 ~ 13:05	
昼休	13:05 ~ 13:20	
5	13:25 ~ 14:15	
6		14:25 ~ 15:15
学活	14:20 ~ 14:25	15:20 ~ 15:25
清掃	14:25 ~ 14:40	15:25 ~ 15:40
下校	14:50	15:50
最終 下校	4/ 1 ~	8/31 18:00
	9/ 1 ~	10/14 17:30
	10/15 ~	1/31 17:00
	2/ 1 ~	3/31 17:30

3年間の主な行事・説明会など

月	共通	1学年	2学年	3学年
4月	対面式・生徒会刊インタビュー 身体計測・新体力テスト・学級写真撮影 避難訓練・学校説明会 部活動保護者説明会・授業参観・学級懇談会 教材販売 市学力学習状況調査	入学式 自然教室説明会	始業式	始業式 全国学力状況調査 修学旅行
5月	土曜授業参観会 学家地協総会・学校評議員会 学習相談 生徒総会・PTA総会		横浜遠足	
6月	地区懇談会 第1回定期試験 進路説明会			
7月	三者面談・学期末清掃・学習相談			
8月	防災訓練・引き取り訓練 教育課程研究会・校内研修会 教育相談・小中一貫会議			
9月	教育相談・体育祭 第2回定期試験 個別支援級合同体育祭			
10月	学校保健委員会 児童生徒交流日・進路説明会 文化学習発表会（合唱コンクール）	自然教室 （令和3年）		実用英語検定
11月	クリーンアップ大作戦 授業参観 学習相談・第3回定期試験	職業講話 懇談会	職場体験学習 懇談会	進路説明会 進路面談
12月	人権週間 三者面談・進路面談 生徒会役員選挙 学期末清掃			
1月	教育相談・避難訓練 個別支援学級合同学芸会			私立推薦入試
2月	新入生保護者説明会・新入生採寸と注文 学習相談・学家地協理事会・学校評議員会 PTA総会・第4回定期試験			私立一般入試 公立入学選抜検査 卒業遠足
3月	学年末清掃 修了式			卒業証書授与式

生活指導について

深谷中学校では、**誰もが豊かに安心して生活できる空間**づくりを目指します。

1) 学習環境を守ることが最大のポイント！

学習環境とは、日々の教科の授業をはじめとする知識や考え方を学ぶ時間と、行事等をはじめとした学校でしかできない体験活動を積む時間をさします。

○中学生は、非常に多感な時期

→小学校の頃とは全く違う、大人になる直前の時期。

→些細な刺激が引き金となり、予期せぬ行動をとってしまうことがある。

○ふさわしい身だしなみが必要！

→髪の色、アクセサリーなどは刺激の引き金。

→トラブルを避けるためにも、余計なことはしない、させない。

○授業妨害・授業のエスケープ

→保護者の方に連絡

→学校との約束事の確認をしたあとに家庭に引き取り下校

→落ち着いて学校生活を送れるように家庭で話を持ちます。

2) 暴力行為については、外部機関との連携による指導を行います。

○触法行為については、保護者の方に連絡を取らせていただきます。

→引き取りのもと下校となります。

→法に触れている行為についても、外部機関との連携の対象となります。

3) ケータイ・スマホ

○横浜市全体で学校への持ち込みは禁止。

→残念ながら、現状、登下校時に使用している生徒がいます。

→契約者は、保護者の皆さまです。使い方については、各家庭での確認をお願いいたします。

※昨今のLINEをはじめとする便利な機能の裏にある、さまざまなトラブルを回避するためには、家庭での利用の仕方の約束事が大切かと思われまます。ケータイ・スマホを持たせることは世界につながる事と同じことです。繋がることは悪いことではありませんが、繋がり方には良し悪しがあります。ケータイ・スマホを持たせているご家庭、あるいはこれから持たせようとしているご家庭につきましては、もう一度、各ご家庭で本当に必要かどうかを話し合い頂き、持たせる場合は約束をお作りください。

様々なトラブルは起こるものです。被害者を救済することは当然必要ですが、それ以前に加害者にならない・加害者を作らない雰囲気作りが安心できる学校生活につながります。

評価・評定について

1、必修教科の観点別学習状況

必修教科の観点別学習状況は、各教科の目標の実現状況を観点ごとに評価し、次のとおりに表記しています。

- A° . . . 十分目標を実現し、特に優れた内容と判断されるもの。
- A . . . 十分目標を実現したと判断されるもの。
- B . . . おおむね満足できる目標を実現したと判断されるもの。
- C° . . . 目標を実現するために努力を要するもの。
- C . . . 目標を実現するためにより一層の努力を要するもの。

2、評定への表記とその基準

- 5 . . . 十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの。
- 4 . . . 十分満足できると判断されるもの。
- 3 . . . おおむね満足できると判断されるもの。
- 2 . . . 努力を要すると判断されるもの。
- 1 . . . 一層努力を要すると判断されるもの。

3、必修教科の評定へ算出する方法（評価スケール）

A° = 5点、 A = 4点、 B = 3点、 C° = 2点、 C = 1点

として換算し、次の表に基づいて評定をする。

評 定	すべての教科
5	15点～14点
4	13点～11点
3	10点～ 8点
2	7点～ 5点
1	4点～ 3点

<参考資料> 令和3年度 第1学年「英語科」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む態度技能
○外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけている。	○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について外国語で簡単な情報や考え方などを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。	○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。

各教科の評価計画と、年間指導計画

(この資料は、各教科で最初の授業で配布されるものです。)

1. 学習のねらい

<p>学習のねらい</p>	<p>○社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</p> <p>○筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにする。</p> <p>○言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>
<p>使用教材</p>	<p>教科書：国語1（光村図書） 中学書写（教育出版）</p> <p>補助教材：国語便覧・すらすら基本文法 学習漢字ノート・国語の学習（浜島書店）</p>

2. 評価の観点および方法

評価の観点	評価の方法	
<p>① 知識及び技能</p>	<p>社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字小テスト ・文法テスト ・定期試験 ・書写への取組
<p>② 思考力・判断力・表現力等</p>	<p>筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ等表現活動 ・聞き取りテスト ・短作文 ・定期試験
<p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養おうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組 ・提出物等の状況 ・定期試験

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
前期	言葉に出会うために [聞き取り]	・詩を楽しみながら読み味わうことができる【思】
	1 学びをひらく [文章読解・説明文作成]	・心情を理解しながら読むことができる【思】 ・目的や相手を考えて文章が書ける【思】
	2 新しい視点で [文章読解・スピーチ]	・要旨を理解しながら読むことができる【思】 ・取材をもとにスピーチをすることができる【思】
	3 言葉の立ち止まる [文章読解・文法・読書]	・詩の世界を深く味わうことができる【思】 ・作品に興味をもって音読したり、味わったりすることができる【思】 ・言葉の単位について理解することができる【知】
後期	4 心の動き [文章読解・案内文作成]	・文章の展開に注意して、心情や事実を読み取ることができる【思】 ・項目を整理して、案内文が書ける【思】
	5 筋道を立てて [文章読解・話し合い]	・文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考えることができる【思】 ・話題や展開を捉えながら話し合うことができる【思】
	6 いにしへの心に触れる [古典音読・古典読解]	・作品の歴史的背景に興味をもつ【知】 ・古文のリズムを味わいながら音読できる【知】 ・歴史的仮名遣いや古語を理解する【知】
	7 価値を見いだす [文章読解・グループディスカッション・鑑賞文作成・文法・読書]	・説明文の論旨を理解することができる【思】 ・グループディスカッションの方法を知り、積極的に話し合うことができる【思】 ・感じたことを率直に鑑賞文に書ける【思】 ・文の組み立てについて理解することができる【知】
	8 自分を見つめる [文章読解・文法・ポスターセッション]	・登場人物の心情を深く読み味わうことができる【思】 ・単語の分類について理解することができる【知】 ・ポスターを作成したり、その内容について発表したりすることができる【思】
通年	書写	・楷書や行書の特徴を意識して書くことができる【知】

4. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・各時間目標をもって、意欲的に授業に参加する。 ・ノートをしっかり取り、折に触れて学習内容を振り返る。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークブック（「国語の学習」）を使って復習する。 ・思いを書き留める。 ・様々な文章を読む。 ・漢字練習を日課にする。

第2学年 教科名 国語科

1. 学習のねらい

<p>学習のねらい</p>	<p>○社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</p> <p>○論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>
<p>使用教材</p>	<p>教科書：国語2（光村図書） 中学書写（光村図書）</p> <p>補助教材：国語便覧・すらすら基本文法 学習漢字ノート・国語の学習（浜島書店）</p>

2. 評価の観点および方法

評価の観点	評価の方法	
<p>① 知識及び技能</p>	<p>社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字小テスト ・文法テスト ・定期試験 ・書写への取組
<p>② 思考力・判断力・表現力等</p>	<p>論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ等表現活動 ・聞き取りテスト ・短作文 ・定期試験
<p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養おうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組 ・提出物等の状況 ・定期試験

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
前期	1 広がる学びへ [文章読解・古典読解・ガイドブック作成]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詩や小説を興味深く読み味わうことができる【思】 ・ 作者の思いを考えながら古文を読むことができる【知】 ・ 目的や相手に応じて文書を書くことができる【思】
	2 多様な視点から [文章読解・プレゼンテーション]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体と部分の関係に注意して、筆者の主張を読み取ることができる【思】 ・ 写真や図表などを使って、効果的に説明することができる【思】
	3 言葉と向き合う [短歌読解・文章読解・読書活動]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短歌の内容・リズムを理解して読むことができる【思】 ・ 学習を生かして短歌を作ることができる【思】 ・ 文章の特性に注目して音読したり、味わったりすることができる【思】
	4 人間のきずな [文章読解・手紙執筆]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効果に注意して読みを深めることができる【思】 ・ 相手や目的に応じた手紙が書ける【思】
後期	5 論理を捉えて [文章読解・パネルディスカッション・意見文作成]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役割を決め、目的にそって討論できる【思】 ・ 文章の構成や表現の仕方をとらえられる【思】 ・ 立場と根拠を明確にして書くことができる【思】
	6 いにしへの心を訪ねる [古典音読・古典読解]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昔の人のものの見方や考え方に触れ、古典に親しむことができる【知】 ・ 古文のリズムを味わいながら音読できる【知】 ・ 漢詩の成り立ちを理解し読み味わう【知】
	7 価値を語る [文章読解・鑑賞文作成]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章における具体と抽象の関係を理解する【思】 ・ 魅力を効果的に伝えることができる【思】
	7 表現を見つめて [文章読解・物語作成]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の人物像の変化を読み味わうことができる【思】 ・ 視点を定め、表現を工夫して書くことができる【思】
通年	書写	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楷書と行書の違いを理解して書くことができる【知】

4. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各時間目標をもって、意欲的に授業に参加する。 ・ ノートをしっかり取り、折に触れて学習内容を振り返る。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークブック（「国語の学習」）を使って復習する。 ・ 思いを書き留める。 ・ 様々な文章を読む。 ・ 漢字練習を日課にする。

第3学年 教科名 国語科

1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>○社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</p> <p>○論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>
使用教材	<p>教科書：国語3（光村図書） 中学書写（光村図書）</p> <p>補助教材：国語便覧 すらすら基本文法 学習漢字ノート 国語の学習（浜島書店）</p>

2. 評価の観点および方法

評価の観点	評価の方法	
① 知識及び技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字小テスト ・文法テスト ・定期試験 ・書写への取組
② 思考力・判断力・表現力等	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ等表現活動 ・聞き取りテスト ・短作文 ・定期試験
③ 主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養おうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組 ・提出物等の状況 ・定期試験

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
前期	1 深まる学びへ [文章読解・スピーチ]	<ul style="list-style-type: none"> 文章の展開や表現の仕方などを評価しながら文章を読むことができる【思】 聞き手の反応に応じて説明や話し方を工夫することができる【思】
	2 視野を広げて [文章読解]	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の論理の展開のしかたを捉えながら読むことができる【思】
	3 言葉とともに [俳句読解・文章読解・ 文法・読書活動]	<ul style="list-style-type: none"> 俳句の内容・リズムを理解して読むことができる【思】 文法の学習を日常生活に生かすことができる【知】 多様な本や文章に触れ、自分の読書生活をデザインすることができる【思】
	4 状況の中で [文章読解・推敲・ 文章比較]	<ul style="list-style-type: none"> 作者の者の見方や考え方が表されている表現に着目して作品を味わうことができる【思】 文章を推敲してよりよくすることができる【思】 論理展開のしかたや表現の工夫を比較できる【思】
	5 自らの考えを [文章読解・批評文作 成・話し合い]	<ul style="list-style-type: none"> 文章読解を通して自分の意見をもつことができる【思】 意見を調整し合いながら共同宣言が出せる【思】 論理の展開を工夫して説得力のある文章を書くことができる【思】
後期	6 いにしへの心を受け 継ぐ [古典音読・古典読解]	<ul style="list-style-type: none"> 昔の人の生活や社会などを想像して読み、古典の心を生活に生かすことができる【知】 歌集の特徴を比較しながら味わい音読できる【知】 俳諧紀行文の独特のリズムを楽しみながら読み味わうことができる【知】
	7 価値を生み出す [文章読解・小論文作 成]	<ul style="list-style-type: none"> 様々な文章を読み、言葉と心について考えを深めることができる【思】 紙面構成を工夫しながら編集することができる【思】
	8 未来へ向かって [文章読解・ ポートフォリオ 作成]	<ul style="list-style-type: none"> 紙面構成を工夫しながら編集することができる【思】
通年	書写	<ul style="list-style-type: none"> 学習の成果を生かして書くことができる【知】

4. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> 各時間目標をもって、意欲的に授業に参加する。 ノートをしっかり取り、折に触れて学習内容を振り返る。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ワークブック（「国語の学習」）を使って復習する。 思いを書き留める。 様々な文章を読む。 漢字練習を日課にする。

第1学年 教科名 社会

1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>○我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>○社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教材	<p>教科書：帝国書院 中学生の地理 帝国書院 中学校社会科地図 帝国書院 中学生の歴史</p> <p>補助教材：とうほう ビジュアル地理 世界・日本 浜島書店 つながる歴史（神奈川県版）</p>

2. 評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
知識・技能	<p>○我が国の国土や歴史、現代の政治、経済、国際関係等について理解し、様々な資料から情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。</p>	<p>①定期試験 ②小テスト ③レポート・課題 ④夏休みの課題 ⑤授業での取組 (調べ学習など)</p>
思考・判断・表現	<p>○社会における出来事の意味や意義、特色や相互の関連を様々な面から考えたり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力を身に付けているか。</p> <p>○自らが思考・判断したことを説明したり、それをもとに話し合ったりする力を身に付けているか。</p>	<p>①定期試験 ②小テスト ③レポート・課題 ④夏休みの課題 ⑤授業での取組 (グループワークなど)</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>○社会における様々な出来事について、よりよい社会の実現に向けて課題を解決しようとしているか。</p> <p>○我が国の国土や歴史に対する愛情をもち、公民として自国の平和と繁栄を図ることや他国や他国の文化を尊重することを大切にしようとしているか。</p>	<p>①定期試験 ②小テスト ③レポート・課題 ④夏休みの課題 ⑤授業での取組 (授業に取り組む姿勢など)</p>

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
1年 前期	<地理的分野> 第1部 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿 1 私たちの住む地球を眺めて 2 いろいろな国の国名と位置 3 緯度と経度 4 地球儀と世界地図の違い	(知識・技能) 緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。 (思考・判断・表現) 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) 世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	第2章 日本の姿 1 世界の中での日本の位置 2 時差でとらえる日本の位置 3 日本の領域とその特色 4 都道府県と県庁所在地	(知識・技能) 我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。 (思考・判断・表現) 日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) 日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境 1 世界のさまざまな生活と環境 2 暑い地域の暮らし 3 乾燥した地域の暮らし 4 温暖な地域の暮らし 5 寒い地域の暮らし 6 高地の暮らし 7 世界各地の衣食住とその変化 8 人々の生活と宗教のかかわり	(知識・技能) 人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。 世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。 (思考・判断・表現) 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) 世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	<歴史的分野> 第1部 歴史のとらえ方と調べ方 第1節 歴史の流れと時代区分 第2節 歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた	(知識・技能) 年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。 資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。 (思考・判断・表現) 時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) 過去を継承しつつ、現在に生きる自身の視点から歴史に問いかけ、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

<p>第2部 歴史の大きな流れと時代の移り変わり 第1章 古代国家の成立と東アジア 第1節 人類の登場から文明の発生へ 第2節 東アジアの中の倭（日本） 第3節 中国にならった国家づくり 第4節 展開する天皇・貴族の政治</p>	<p>（知識・技能） 世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。 日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。 律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。 仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。 （思考・判断・表現） 古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 （主体的に学習に取り組む態度） 古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>第2章 武家政権の成長と東アジア 第1節 武士の世の始まり 第2節 武家政権の内と外 第3節 人々の結び付きが強まる社会</p>	<p>（知識・技能） 鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。 南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。 （思考・判断・表現） 武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 （主体的に学習に取り組む態度） 中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p><地理的分野> 第2部 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 第1節 アジア州 第2節 ヨーロッパ州 第3節 アフリカ州 第4節 北アメリカ州 第5節 南アメリカ州 第6節 オセアニア州</p>	<p>（知識・技能） 世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。 アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。 （思考・判断・表現） アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 （主体的に学習に取り組む態度） 世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

4. 学習方法についてのアドバイス

学 校	<ul style="list-style-type: none">・授業中はしっかりと集中して話を聞き、気付いたことや疑問点、自分の意見や感想をノートに書いておく。黒板に書いてあることを写すだけでなく授業内容に関連することを調べ、付け加えていくと理解を深めることができる。・学習課題に対して、自分の考えをもちながら授業に取り組む姿勢を大切にする。・提出物などは計画的に取り組み、必ず期限を守るようにする。
家 庭	<ul style="list-style-type: none">・授業で学習した内容について、特に重要なところは家でしっかりと復習しておく。・試験前に詰め込む学習ではなく、日頃から予習復習を行う習慣を身につけるようにする。・日頃から、社会で起きている事柄に関心をもつようにする。

第2学年 教科名 社会

1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>○我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>○社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教材	<p>教科書： 帝国書院 中学生の地理 育鵬社 新しい日本の歴史</p> <p>補助教材：とうほう ビジュアル地理 世界・日本 浜島書店 つながる歴史（神奈川県版）</p>

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
知識・技能	<p>○わが国の国土や歴史について理解し、様々な資料から情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。</p>	<p>①定期テスト ②小テスト ③レポート ④夏休みの課題 ⑤授業での取組 (調べ学習など)</p>
思考・判断・表現	<p>○社会における出来事の意味や意義、特色や相互の関連を様々な面から考えたり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力を身に付けているか。</p> <p>○自らが思考・判断したことを説明したり、それをもとに話し合ったりする力を身に付けているか。</p>	<p>①定期テスト ②レポート ③夏休みの課題 ④授業での取組 (グループワークなど)</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>○社会における様々な出来事について、よりよい社会の実現に向けて課題を解決しようとしているか。</p> <p>○我が国の国土や歴史に対する愛情をもち、自国の平和と繁栄を図ることや他国や他国の文化を尊重することを大切にしようとしているか。</p>	<p>①定期テスト ②レポート ③夏休みの課題 ④授業での取組 (自分の考えや疑問をもつ) ⑤課題（ノートやレポートなど） に取り組む姿勢</p>

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
2年 前期	<p><歴史的分野> 第3章 近世の日本 第1節 ヨーロッパとの出会い 25 ヨーロッパ人の世界進出 26 ヨーロッパ人の来航</p>	<p>(知識・技能) ・ヨーロッパ人来航の背景とその影響をもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。 (思考・判断・表現) ・交易の広がりとその影響に着目して、アジアにヨーロッパが進出する中で、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、日本とヨーロッパ諸国の接触が起こったことや、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) ・世界の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
	<p>第2節「日本」の国の成り立ち 27 織田信長と豊臣秀吉の全国統一 28 豊臣秀吉の政治と外交 29 雄大で豪華な桃山文化</p>	<p>(知識・技能) ・織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などをもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。 (思考・判断・表現) ・統一政権の諸政策の目的に着目して、中世社会から近世社会への変化が生み出され、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) ・統一事業について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
	<p>第3節江戸幕府の政治 30 江戸幕府の成立 31 「鎖国」への道 32 「鎖国」のもとの4つの窓口 33 身分制度の確立</p>	<p>(知識・技能) ・江戸幕府の成立と大名統制、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係をもとに、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 (思考・判断・表現) ・統一政権の諸政策の目的に着目して、江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ、安定した社会が構築されたことを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) ・江戸幕府の成立と対外関係について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
	<p>第4節産業・交通の発達と町人文化 34 綱吉の文治政治と元禄文化 35 新田の開発と産業・交通の発達 36 藩校と寺子屋</p>	<p>(知識・技能) ・身分制と農村のようすをもとに、幕府と藩による支配が確立したこと、産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりをもとに、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。 (思考・判断・表現) ・統一政権の諸政策の目的に着目して、江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ、都市や農村における生活や変化し、安定した社会が構築されたことを考察したり、産業の発達と文化の担い手の変化に着目して、都市を中心とした経済が形成されていく中で、日本の文化の空間的な広がりが生み出され、それを背景として各地方の生活文化が生まれたことや、生産技術の向</p>

	<p>上や交通の整備と町人文化の特徴を考察したりするなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業の発達と町人文化などについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
<p>第5節幕府政治の改革 37 社会の変化と享保の改革 38 田沼の政治と寛政の改革 39 欧米諸国の接近 40 天保の改革と諸藩の改革 41 江戸の町人文化 42 新しい学問と思想の動き</p>	<p>(知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどをもとに、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。 <p>(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会の変化と幕府の政策の変化に着目して、貨幣経済が農村に広がる中で経済的な格差が生み出され、それらの背景として百姓一揆がおこったことや、社会や経済の変化への対応としての諸改革の展開を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 幕府政治の展開について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
<p><地理的分野> 第2部 日本のさまざまな地域 第1章日本の姿 1 世界の中での日本の位置 2 時差でとらえる日本の位置 3 日本の領域と領土問題 4 都道府県と県庁所在地 5 さまざまな地方区分</p>	<p>(知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。 <p>(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
<p>第2章世界と比べた日本の地域的特色 1節自然環境の特色 1 世界の地形 2 日本の山地・海岸と周辺の海 3 日本の川と平野 4 日本の気候 5 日本のさまざまな自然災害 6 自然災害に対する備え 2節人口の特色 1 世界の人口の分布と変化 2 日本の人口の変化と特色 3節資源や産業の特色 1 世界の資源・エネルギー 2 日本の資源・エネルギーと電力 3 日本の農業・林業・漁業とその変化 4 日本の工業とその変化 5 日本の商業・サービス業 4節地域間の結びつきの特</p>	<p>(知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解している。 少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解している。 日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。 国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解している。 日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けている。 <p>(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。

2 年 後 期	色 1 世界と日本の交通・通信 網	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目して、それらに関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) ・日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	第3章日本の諸地域 1 節九州地方 2 節中国・四国地方 3 節近畿地方 4 節中部地方 5 節関東地方 6 節東北地方 7 節北海道地方	<ul style="list-style-type: none"> (知識・技能) ・幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ・(1)自然環境を中核とした考察の仕方、(2)人口や都市・村落を中核とした考察の仕方、(3)産業を中核とした考察の仕方、(4)交通や通信を中核とした考察の仕方、(5)その他の事象を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 (思考・判断・表現) ・日本の諸地域において、扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。 (主体的に学習に取り組む態度) ・日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	<歴史的分野> 第4章 近代の日本と世界 第1節 欧米諸国の進出と幕末の危機 43 欧米の市民革命・産業革命 44 欧米列強のアジア進出 45 黒船来航の衝撃 46 尊王攘夷運動の高まり 47 倒幕と大政奉還、王政復古の号令	<ul style="list-style-type: none"> (知識・技能) ・欧米諸国における市民革命や産業革命をもとに、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへの進出したことを理解している。 (思考・判断・表現) ・工業化の進展と政治や社会の変化に着目して、近代化の進展により欧米諸国の政治や社会がどのように変化したかを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) ・欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	第2節 明治・日本の国づくり 48 五箇条の御誓文と明治維新 49 新しい国づくりへの道 50 学制・兵制・税制の改革 51 明治初期の外交と国境の画定 52 岩倉使節団と西南戦争 53 殖産興業と文明開化	<ul style="list-style-type: none"> (知識・技能) ・富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などをもとに、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 (思考・判断・表現) ・明治政府の諸改革の目的に着目して、諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響を考察したり、明治維新について、近世の政治や社会との違いに着目して、近世から近代への転換のようすを考察したりするなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) ・明治維新と近代国家の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	第3節 アジア最初の立憲国家・日本 54 国会開設へ向けて・自由	<ul style="list-style-type: none"> (知識・技能) ・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定をもとに、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、日本の国際的な地位が向上したことを理解して

<p>民権運動</p> <p>55 大日本帝国憲法の制定と帝国議会</p> <p>56 不平等条約の改正への努力</p> <p>57 朝鮮半島と日清戦争</p> <p>58 ロシアとの激突・日露戦争</p> <p>59 国際的地位の向上と韓国併合</p>	<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条約改正，日清・日露戦争などをもとに，日本の国際的な地位が向上したことを理解している。 <p>(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会政治や政治の展開に着目して，世界との関係や，現代の政治とのつながりを考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ・外交や戦争の展開に着目して，世界との関係や現代の政治とのつながりを考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会政治の始まりについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ・国際社会との関わりについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
<p>第4節</p> <p>近代産業の発展と近代文化の形成</p> <p>60 日本の産業革命と国民生活の変化</p> <p>61 西洋文化と明治の文化</p>	<p>(知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の産業革命とこの時期の国民生活の変化，学問・教育・科学・芸術の発展などをもとに，日本で近代産業が発達し，近代文化が形成されたことを理解している。 <p>(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化がもたらした文化への影響に着目して，産業の発展が国民生活や文化に与えた影響を考察するなど，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代産業の発達と近代文化の形成について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

4. 学習方法についてのアドバイス

<p>学 校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中はしっかりと集中して話を聞き、気付いたことや疑問点、自分の意見や感想をノートに書いておく。黒板に書いてあることを写すだけでなく授業内容に関連することを調べ、付け加えていくと理解を深めることができる。 ・学習課題に対して、自分の考えをもちながら授業に取り組む姿勢を大切にする。 ・提出物などは計画的に取り組み、必ず期限を守るようにする。
<p>家 庭</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した内容について、特に重要なところは家でしっかりと復習しておく。 ・試験前に詰め込む学習ではなく、日頃から予習復習を行う習慣を身につけるようにする。 ・日頃から、社会で起きている事柄に関心をもつようにする。

第3学年 教科名 社会

1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>○我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際社会等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>○社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教材	<p>教科書： 育鵬社 新しい日本の歴史 東京書籍 新しい社会公民</p> <p>補助教材： 浜島書店 つながる歴史（神奈川県版） とうほう ビジュアル公民</p>

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
知識・技能	<p>○我が国の国土や歴史、現代の政治、経済、国際関係等について理解し、様々な資料から情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。</p>	<p>①定期テスト ②小テスト ③レポート ④夏休みの課題 ⑤授業での取組 (調べ学習など)</p>
思考・判断・表現	<p>○社会における出来事の意味や意義、特色や相互の関連を様々な面から考えたり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力を身に付けているか。</p> <p>○自らが思考・判断したことを説明したり、それをもとに話し合ったりする力を身に付けているか。</p>	<p>①定期テスト ②レポート ③夏休みの課題 ④授業での取組 (グループワークなど)</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>○社会における様々な出来事について、よりよい社会の実現に向けて課題を解決しようとしているか。</p> <p>○我が国の国土や歴史に対する愛情をもち、公民として自国の平和と繁栄を図ることや他国や他国の文化を尊重することを大切にしようとしているか。</p>	<p>①定期テスト ②レポート ③夏休みの課題 ④授業での取組 (自分の考えや疑問をもつ) ⑤課題（ノートやレポートなど） に取り組む姿勢</p>

3. 学習計画

各単元と主な内容	観点別評価の具体例
<p>＜歴史的分野＞ 第5章二度の世界大戦と日本 第1節 第一次世界大戦前後の日本と世界</p> <p>第2節 第二次世界大戦終結までの日本と世界</p>	<p>(知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第一次世界大戦の背景とその影響，民族運動の高まりと国際協調の動き，我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に，第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。 ○経済の世界的な混乱と社会問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，欧米諸国の動き，戦時下の国民の生活などを基に，軍部の台頭から戦争までの経過と，大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。 <p>(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○戦争に向かう時期の社会や生活の変化，世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ○近代後半の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。 <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○近代後半の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
<p>第6章現代の日本と世界 第1節 第二次世界大戦後の民主化と再建 第2節 経済大国・日本の国際的役割</p>	<p>(知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○冷戦，我が国の民主化と再建の過程，国際社会への復帰などを基に，第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。 ○高度経済成長，国際社会との関わり，冷戦の終結などを基に，我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し，国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。 <p>(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○諸改革の展開と国際社会の変化，政治の展開と国民生活の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。 ○現代の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。 ○これまでの学習を踏まえ，歴史と私たちとのつながり，現在と未来の日本や世界の在り方について，課題意識をもって多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現代の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。
<p>＜公民的分野＞ 公民学習の初めに 第1章 現代社会と私たち</p>	<p>(知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現代日本の特色として少子高齢化，情報化，グローバル化などが見られることについて理解している。 ○現代社会における文化の意義や影響について理解している。 ○現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして，対立と合意，効率と公正などについて理解している。

		<p>○人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>○位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>○私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p> <p>○現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>
<p>第2章 個人の尊重と日本 国憲法</p>		<p>(知識・技能)</p> <p>○人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。</p> <p>○民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。</p> <p>○日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。</p> <p>○日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>○対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>○人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>
<p>第3章 現代の民主政治と 社会</p>		<p>(知識・技能)</p> <p>○国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。</p> <p>○議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解している。</p> <p>○国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。</p> <p>○地方自治の基本的な考え方について理解している。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>○対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p>

		○民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
第4章 私たちの暮らしと 経済	(知識・技能) ○身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。 ○市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。 ○現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 ○勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 ○社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 ○財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。 (思考・判断・表現) ○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。 ○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。 ○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ○対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) ○市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ○国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	
第5章 地域社会と私たち	(知識・技能) ○世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際、領土(領海、領空を含む。)、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。 ○地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。 (思考・判断・表現) ○対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) ○世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した内容について、教科書やノートを見直しながら家でしっかりと復習しておく。 ・試験前に詰め込む学習ではなく、日頃から予習復習を行う習慣を身につけるようにする。 ・日頃から、社会で起きている事柄に関心をもつようにする。 	

第1学年 数学

1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>○数を正の数と負の数まで拡張し、数の概念についての理解を深める。また、文字を用いることや方程式の必要性と意味を理解するとともに、数量の関係や法則などを一般的にかつ簡潔に表現し、処理する能力を培う。</p> <p>○具体的な事象を調べることを通して、比例、反比例についての理解を深めるとともに、関数関係を見出し表現し考察する能力を培う。</p> <p>○平面図形や空間図形についての観察、操作や実験などの活動を通して、図形に対する直観的な見方や考え方を深めるとともに、論理的に考察し表現する能力を培う。</p> <p>○目的に応じて資料を収集して整理し、その資料の傾向を読み取る能力を培う。</p>
使用教材	<p>教科書：新しい数学① 東京書籍</p> <p>補助教材：「数学の学習ノート」①</p>

2. 評価の観点および方法

評価の観点	評価の方法
① 知識・技能	<p>・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解しているか。</p> <p>・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けているか。</p> <p>【授業中の取組】</p> <p>・授業中の発言、ノートやワークの記述から、数学の知識や技能を問題解決の過程において適切に活用することができる。</p> <p>【定期試験、小テストなど】</p> <p>・左の評価項目にあるような問題を解くことができる。</p>
② 思考力・判断力・表現力	<p>・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けているか。</p> <p>【授業中の取組】</p> <p>・授業中の発言、ノートやワークの記述から、問題を見いだしたり、解決したりする際、左の評価項目にあるような思考、判断、表現をしている。</p> <p>【定期試験、小テストなど】</p> <p>・左の評価項目にあるような問題を解くことができる。</p>
③ 主体的に学習に取り組む態度	<p>・数学的活動の楽しさや数学の良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしているか。</p> <p>【授業中の発言・態度】</p> <p>・授業中の発言、ノートやワークの記述から、問題発見・解決に向けた見通しをもち、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【提出物】</p> <p>・数学的活動に主体的に取り組んでいる。</p> <p>【ノート】</p> <p>・計算したり、問題解決法をいろいろ考えたり、自分の考えを整理したりすることに有効に活用できている。</p> <p>【定期試験・小テスト・プリントなど】</p> <p>・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</p>

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
1 年 前 期	0章 算数から数学へ 1節 整数の性質	
	1章 数の世界をひろげよう〔正負の数〕 1節 正負の数 2節 加法と減法 3節 乗法と除法 4節 正負の数の利用	<ul style="list-style-type: none"> 身近な事象を正負の数を使って表すことができる【①】 正負の数の四則計算ができる【①】 正負の数の意味を理解し、数の概念をひろげることができる。【②】 負の数の存在を知り、身近な事象を負の数を用いて表現しようとする【③】
	2章 数学のことばを身につけよう〔文字と式〕 1節 文字を使った式 2節 文字式の計算 3節 文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> 文字を用いることや式の値の意義を理解している【①】 文字式のきまりにしたがって表現することができる【①】 数量やその関係を、文字を用いて考えることができる【②】 文字や文字式を用いるよさに気づこうとする【③】
	3章 未知の数の求め方を考えよう〔方程式〕 1節 方程式とその解き方 2節 1次方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> 等式の性質を見出し、方程式がそれに基づいて解けることを理解している【①】 式の変形によって、方程式を形式的に解くことができる【①】 変形の過程を考察し、変形面での簡潔化について考えることができる【②】 等式の性質を根拠としながら、移項などの式の変形をしようとする【③】
1 年 後 期	4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう〔比例と反比例〕 1節 関数と比例・反比例 2節 比例の性質と調べ方 3節 反比例の性質と調べ方 4節 比例と反比例の利用	<ul style="list-style-type: none"> 座標の意味や比例の特徴を理解している【①】 座標平面を用いて、点から座標を求めることができる【①】 比例の関係にある事柄の変化や対応を調べることができる【②】 表、式、グラフのそれぞれの良さを理解しようとする【③】
	5章 平面図形の見方をひろげよう〔平面図形〕 1節 図形の移動 2節 基本の作図 3節 おうぎ形	<ul style="list-style-type: none"> 線対称、点対称の意味を理解している【①】 対称な図形を見つけたりつくったりすることができる【①】 対象性に注目して、直感的な見方や考え方ができる【②】 小学校の学習を利用して対称な図形を明らかにしようとする【③】
	6章 立体の見方をひろげよう〔空間図形〕 1節 いろいろな立体 2節 立体の見方と調べ方 3節 立体の表面積と体積	<ul style="list-style-type: none"> 見取り図と展開図の意味を理解している【①】 空間図形を平面上に表現できる【①】 図形を色々な見方でとらえることができる【②】 空間図形を色々な方法で表現しようとする【③】
	7章 データを活用して判断しよう〔データの分析と活用〕 1節 データの整理と分析 2節 データの活用 3節 ことからの起こりやすさ	<ul style="list-style-type: none"> 度数分布表や階級、度数、範囲などの意味を理解している【①】 平均値や中央値、最頻値を求めることができる【①】 度数分布表や相対度数から、分布の様子や特徴を読み取ることができる【②】 目的や資料のようすに応じて、用いる代表値を適切に選ぶようとする【③】

4. 学習方法についてのアドバイス

学 校	<ul style="list-style-type: none"> 授業中はしっかりと集中して話を聞き、気付いたことや考えた事をノートに書いていく。 答えや解説を待つ姿勢ではなく、自分で考えることを大切にする。 提出物などは計画的に取り組み期限を守る。
家 庭	<ul style="list-style-type: none"> 授業で学習した内容について、短時間でも毎日復習していく。 問題の答え合わせは、丸付けだけでなく考え方まで見直すことを大切にする。 問題集はまとめて取り組むのではなく、日々こつこつと進めていく。

第2学年 数学

1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>○文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。</p> <p>○文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。</p> <p>○数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。</p>
使用教材	<p>教科書：新しい数学2 東京書籍 補助教材：「数学のベーシックマスター」</p>

2. 評価の観点および方法

評価の観点	評価の方法
① 知識・技能	<p>・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解しているか。</p> <p>・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けているか。</p> <p>【授業中の取組】</p> <p>・授業中の発言、ノートやワークの記述から、数学の知識や技能を問題解決の過程において適切に活用することができる。</p> <p>【定期試験、小テストなど】</p> <p>・左の評価項目にあるような問題を解くことができる。</p>
② 思考力・判断力・表現力	<p>・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けているか。</p> <p>【授業中の取組】</p> <p>・授業中の発言、ノートやワークの記述から、問題を見いだしたり、解決したりする際、左の評価項目にあるような思考、判断、表現をしている。</p> <p>【定期試験、小テストなど】</p> <p>・左の評価項目にあるような問題を解くことができる。</p>
③ 主体的に学習に取り組む態度	<p>・数学的活動の楽しさや数学の良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしているか。</p> <p>【授業中の発言・態度】</p> <p>・授業中の発言、ノートやワークの記述から、問題発見・解決に向けた見通しをもち、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【提出物】</p> <p>・数学的活動に主体的に取り組んでいる。</p> <p>【ノート】</p> <p>・計算したり、問題解決法をいろいろ考えたり、自分の考えを整理したりすることに有効に活用できている。</p> <p>【定期試験・小テスト・プリントなど】</p> <p>・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</p>

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
2 年 前 期	1章 式の計算 1節 式の計算 2節 文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を含む四則計算ができる【①】 ・同類項や単項式の乗除計算を理解している【①】 ・計算方法を考え、説明することができる【②】 ・文字を使った式の必要性和意味を考え、生活や学習に生かそうとしている【③】
	2章 連立方程式 1節 連立方程式とその解き方 2節 連立方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・2元1次方程式と解の意味を理解している【①】 ・簡単な連立方程式を解くことができる【①】 ・連立2元1次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる【②】 ・連立2元1次方程式の必要性和意味を考え、生活や学習に生かそうとしている【③】
	3章 1次関数 1節 1次関数 2節 1次関数の性質と調べ方 3節 2元1次方程式と1次関数 4節 1次関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・1次方程式の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる【①】 ・変化の割合とグラフの特徴を理解している【①】 ・1次関数を用いて具体的な事象をとらえ考察し表現することができる【②】 ・1次関数の必要性和意味を考え、生活や学習に生かそうとしている【③】
2 年 後 期	4章 平行と合同 1節 説明のしくみ 2節 平行線と角 3節 合同な図形	<ul style="list-style-type: none"> ・平行線や角、三角形などについて理解している【①】 ・平面図形の合同の意味、三角形の合同条件について理解している【①】 ・平行線や角の性質をもとにして、それらを確かめ説明することができる【②】 ・証明の必要性和意味及び証明の方法を考えようとしている【③】
	5章 三角形と四角形 1節 三角形 2節 平行四辺形	<ul style="list-style-type: none"> ・定義やことからの仮定と結論、逆、反例の意味を理解している【①】 ・三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることができる【②】 ・図形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を考察し、表現することができる【②】 ・平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとしている【③】
	6章 確率 1節 確率 2節 確率による説明	<ul style="list-style-type: none"> ・場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を理解している【①】 ・確率を用いて不確定な事象をとらえ、考察し表現することができる【②】 ・事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている【③】
	7章 データの比較 1節 四分位範囲と箱ひげ図	<ul style="list-style-type: none"> ・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解している【①】 ・データの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる【②】 ・データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている【③】

4. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中はしっかりと集中して話を聞き、自ら考え、気付いたことや考えた事をノートに書く。 ・答えや解説を待つ姿勢ではなく、自分で考えながら解いてみることを大切にする。 ・提出物などは計画的に取り組み期限を守る。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した内容について、短時間でも毎日復習を続けることを大切にする。 ・練習問題の答え合わせは、丸付けだけでなく考え方まで見直し、振り返ることを大切にする。

第3学年 数学

1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>○数の平方根について理解し、数の概念についての理解を深める。また、目的に応じて計算したり式を変形したりする能力を伸ばすとともに、二次方程式について理解し用いる能力を培う。</p> <p>○図形の相似、円周角と中心角の関係や三平方の定理について、観察、操作や実験などの活動を通して理解し、それらを図形の性質の考察や計量に用いる能力を伸ばすとともに、図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。</p> <p>○具体的な事象を調べることを通して、関数 $y = ax^2$ について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を伸ばす。</p> <p>○母集団から標本を取り出し、その標本の傾向を調べることで、母集団の傾向を読み取る能力を培う。</p>
使用教材	<p>教科書：新しい数学③ 東京書籍</p> <p>補助教材：「数学の学習ノート」</p>

2. 評価の観点および方法

評価の観点	評価の方法
① 知識・技能	<p>・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解しているか。</p> <p>・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けているか。</p> <p>【授業中の取組】</p> <p>・授業中の発言、ノートやワークの記述から、数学の知識や技能を問題解決の過程において適切に活用することができる。</p> <p>【定期試験、小テストなど】</p> <p>・左の評価項目にあるような問題を解くことができる。</p>
② 思考力・判断力・表現力	<p>・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けているか。</p> <p>【授業中の取組】</p> <p>・授業中の発言、ノートやワークの記述から、問題を見いだしたり、解決したりする際、左の評価項目にあるような思考、判断、表現をしている。</p> <p>【定期試験、小テストなど】</p> <p>・左の評価項目にあるような問題を解くことができる。</p>
③ 主体的に学習に取り組む態度	<p>・数学的活動の楽しさや数学の良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしているか。</p> <p>【授業中の発言・態度】</p> <p>・授業中の発言、ノートやワークの記述から、問題発見・解決に向けた見通しをもち、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【提出物】</p> <p>・数学的活動に主体的に取り組んでいる。</p> <p>【ノート】</p> <p>・計算したり、問題解決法をいろいろ考えたり、自分の考えを整理したりすることに有効に活用できている。</p> <p>【定期試験・小テスト・プリントなど】</p> <p>・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</p>

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
3年 前期	1章 多項式 1節 多項式の計算 2節 因数分解 3節 式の計算の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した計算方法が利用できるように工夫しようとする【③】 ・公式を利用する良さに気づき、式を能率よく処理している【②】 ・分配法則を用いて、計算することができる【①】 ・式の展開や因数分解の意味を理解している【①】
	2章 平方根 1節 平方根 2節 根号をふくむ式の計算 3節 平方根の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・平方根の計算に関心をもち、平方根の理解を深めようとする【③】 ・平方根と文字の関連を考えながら、計算方法を工夫できる【②】 ・平方根を含む簡単な式の計算ができる【①】 ・平方根を含む簡単な式の計算を理解している【①】
	3章 2次方程式 1節 2次方程式とその解き方 2節 2次方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項から2次方程式の解き方を見つけようとする【③】 ・方程式の解が問題に適しているかどうか調べることができる【②】 ・方程式を用いて問題を解決することができる【①】 ・簡単な2次方程式の解き方を理解している【①】
	4章 関数 $y = ax^2$ 1節 関数 $y = ax^2$ 2節 関数 $y = ax^2$ の性質と調べ方 3節 いろいろな関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ $y = ax^2$ のグラフや変化の割合の特徴を調べようとする【③】 ・ $y = ax^2$ のグラフを図形的に考察したり変化の割合について考えることができる【②】 ・ $y = ax^2$ の関係を表、式、グラフで表現し、特徴を読み取ることができる【①】 ・ $y = ax^2$ のグラフの特徴について理解している【①】
3年 後期	5章 相似な図形 1節 相似な図形 2節 平行線と比 3節 相似な図形の面積と体積	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の合同条件を基に相似条件を見つけようとする【③】 ・三角形の相似条件を論理的に考えることができる【②】 ・三角形の相似条件を用いて図形の性質を読み取ったり表したりすることができる【①】 ・三角形の相似条件を理解している【①】
	6章 円 1節 円周角の定理 2節 円周角の定理の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理に関心をもち、その証明を調べようとする【③】 ・三平方の定理の証明の多様性を知り、それを考察できる【②】 ・三平方の定理の証明の多様性を知り、それを表せる【①】 ・三平方の定理を見だしそれを証明できることを理解できる【①】
	7章 三平方の定理 1節 三平方の定理 2節 三平方の定理の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな図をかき、円周角の定理を利用して成り立つ性質を調べようとする【③】 ・観察、操作や実験などの活動を通して、円周角と中心角の関係を見出すことができる【②】 ・円周角の定理を利用して角の大きさを求めることができる【①】 ・円周角の意味を理解している【①】
	8章 標本調査 1節 標本調査	<ul style="list-style-type: none"> ・標本調査の方法について調べ、考えようとする【③】 ・標本調査の簡単な例から、母集団の傾向を読み取ることができる【②】 ・標本調査について、模擬的に実験することができる【①】 ・模擬的に行う標本調査の実験方法について知る【①】

4. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中はしっかりと集中して話を聞き、気付いたことや考えた事をノートに書いていく。 ・答えや解説を待つ姿勢ではなく、自分で調べたり考えたりすることを大切にする。 ・提出物などは計画的に取り組み期限を守る。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した内容について、復習プリントを活用して復習していく。 ・問題の答え合わせは、丸付けだけでなく考え方まで見直し解き直す習慣をつける。 ・問題集はまとめて取り組むのではなく、日々こつこつと進めていく。

第1学年 教科名 理科 年間評価計画

1. 学習のねらい

学習のねらい	自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。
使用教材	教科書：未来へひろがるサイエンス1（啓林館）・マイノート 補助教材：理科の自主学习1

2. 評価の観点および方法

評価の観点	評価の方法	評価			評定			
【知識・技能】 自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解、科学的に探究するために必要な観察・実験等の技能	・行動観察 ・発言 ・発表 ・パフォーマンステスト ・レポート ・ワークシート ・小テスト ・定期テストなど	A°	特に満足	5点	3 観点の合計点が、 15 14 点			
		A	十分満足	4点			5	
		B	おおむね満足	3点				
		C°	要努力	2点				
		C	一層要努力	1点				
【思考・判断・表現】 科学的に探究する力	・行動観察 ・発言 ・発表 ・ワークシート ・小テスト ・定期テストなど	A°	特に満足	5点	13 11 点			
		A	十分満足	4点			4 3	
		B	おおむね満足	3点				
		C°	要努力	2点				
		C	一層要努力	1点				
【主体的に学習に取り組む態度】 科学的に探求しようとする態度	・行動観察 ・発言 ・発表 ・自己評価 ・ポートフォリオ ・レポート ・ワークシートなど	A°	特に満足	5点	7 5 点			
		A	十分満足	4点			2 1	
		B	おおむね満足	3点				
		C°	要努力	2点				
		C	一層要努力	1点				

3. 学習計画

		各単元と主な内容	観点別評価の具体例
前期	4月～7月	【生命】 いろいろな生物とその共通点 1章 植物の特徴と分類 2章 動物の特徴と分類	<ul style="list-style-type: none"> 植物の不思議に興味をもち、植物と動物との違いについて気づいたことを発表しようとする。【主】 観察記録に基づいて、花のつくりの共通点と相違点を見いだすことができる。【思】 顕微鏡や双眼実体顕微鏡を正しく操作することができる。【知】 被子植物の花の基本的なつくりを説明することができる。【思】
	8月～12月	【物質】 身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質 3章 水溶液の性質 4章 物質のすがたとその変化	<ul style="list-style-type: none"> いろいろなものについて、写真を見たり手で触れたりしてその違いに気づき、区別する方法について進んで考えようとする。【主】 実験結果か、調べた物質が何であるかを類推することができる。【思】 てんびんやメスシリンダーを用いて質量や体積を正しく測定することができる。【知】 密度の定義と求め方について理解している。【知】 身のまわりの物質の状態変化に興味をもち、調べようとする。【主】 エタノールを加熱したときの温度変化をグラフで表し、関係を見いだすことができる。【思】 融点を測定する実験を正しく安全に行うことができる。【知】 状態変化では、体積は変化するが質量は変化しないことについて理解している。【知】 蒸留の原理について理解し、その原理が石油の蒸留などにも活用されていることに関心を示している。【主】
後期	1月～3月	【エネルギー】 光・音・力による現象 1章 光による現象 2章 音による現象 3章 力による現象	<ul style="list-style-type: none"> 凸レンズを通る光の進み方をもとに、どの位置にどのような像ができるのかを作図によって求めることができる。【思】 凸レンズによってできる像を調べる実験の基本操作ができ、物体と凸レンズの距離によって像の位置や大きさ、向きが変わることを記録できる。【知】 実験の結果から、音の大小と振幅、音の高低と振動数が関係していることを考察することができる。【思】 振動のしかたと音の関係を調べる実験を行い、音の大小や高低と振動のしかたとがどのような関係にあるのかを調べることができる。【知】 振幅が大きいほど音は大きくなり、振動数が多いほど音が高くなることを理解し、知識を身につけている。【知】 物体に力がはたらくと物体はどうなるか説明している。【思】 力の大きさとばねののびの関係について、他者と協力しながら探究しようとしている。【主】 2力がつり合う条件を、穴の位置や力の大きさ、力の向きを変えながら調べている。【知】
		【地球】 活きている地球 1章 身近な大地 2章 ゆれる大地 3章 火をふく大地 4章 語る大地	<ul style="list-style-type: none"> 火山噴出物に関心をもち、積極的に調べようとする。【主】 マグマの性質と火山の形・噴火の様子・噴出物との関係を推測することができる。【思】 火成岩の組織や鉱物を観察し、その特徴をスケッチで示すことができる。【知】 火山噴出物の種類とその特徴を理解する。【知】

4. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> 授業の始まる前に着席し、授業の準備をしておきましょう。 授業中は自分の考えを持ちながら集中して授業を聞きましょう。 授業の発問には積極的に挙手をし、発表しましょう。 観察・実験に積極的に取り組み、操作や記録方法をマスターしましょう。 提出物は必ず期限を守って提出しましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 授業で習ったところはプリントや教科書、ワークなどで確認し、復習しましょう。 問題の答え合わせは、丸やばつをつけるだけでなく、問題の意味を考え理解し、間違えた問題はもう一度解いてみましょう。 テストやワークで間違えた問題は、必ず間違えなくなるまでやり直しましょう。

第2学年 教科名 理科 年間評価計画

1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教材	<p>教科書：未来へひろがるサイエンス2（啓林館）・マイノート</p> <p>補助教材：理科の自主学习2</p>

2. 評価の観点および方法

評価の観点	評価の方法	評価			評定	
<p>【知識・技能】</p> <p>自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解、科学的に探究するために必要な観察・実験等の技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・発言 ・発表 ・パフォーマンステスト ・レポート ・ワークシート ・小テスト ・定期テストなど 	<p>A^o</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>C^o</p> <p>C</p>	<p>特に満足</p> <p>十分満足</p> <p>おおむね満足</p> <p>要努力</p> <p>一層要努力</p>	<p>5点</p> <p>4点</p> <p>3点</p> <p>2点</p> <p>1点</p>	<p>3 観点の合計点が、</p> <p>15</p> <p> </p> <p>14</p> <p>点</p>	<p>5</p>
<p>【思考・判断・表現】</p> <p>科学的に探究する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・発言 ・発表 ・ワークシート ・小テスト ・定期テストなど 	<p>A^o</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>C^o</p> <p>C</p>	<p>特に満足</p> <p>十分満足</p> <p>おおむね満足</p> <p>要努力</p> <p>一層要努力</p>	<p>5点</p> <p>4点</p> <p>3点</p> <p>2点</p> <p>1点</p>		
<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>科学的に探求しようとする態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・発言 ・発表 ・自己評価 ・ポートフォリオ ・レポート ・ワークシートなど 	<p>A^o</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>C^o</p> <p>C</p>	<p>特に満足</p> <p>十分満足</p> <p>おおむね満足</p> <p>要努力</p> <p>一層要努力</p>	<p>5点</p> <p>4点</p> <p>3点</p> <p>2点</p> <p>1点</p>	<p>7</p> <p> </p> <p>5</p> <p>点</p> <p>4</p> <p> </p> <p>3</p> <p>点</p>	<p>2</p> <p>1</p>

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
前期	【物質】 化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち 2章 さまざまな化学変化 3章 化学変化と物質の質量	<ul style="list-style-type: none"> 炭酸水素ナトリウムの加熱による変化について、生成する物質の集め方や調べ方を立案している。【思】 電流を流すことによって物質が分解し、性質の異なる別の物質が生成することを説明している。【知】 化学変化を原子・分子のモデルと関連づけながら、化学反応式で表している。【知】 硫黄による鉄の変化に関心をもち、確かめようとしている。【主】 化学変化による熱の利用に興味をもっている。【主】 化学変化の前後で反応に関係する物質全体の質量が変わらないことを、説明している。【思】
	【生命】 生物の体のつくりとはたらき 1章 生物の体をつくるもの 2章 植物の体のつくりとはたらき 3章 動物の体のつくりとはたらき 4章 動物の行動のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に細胞の観察に取り組み、それぞれの細胞の特徴や共通点を見いだそうとする。【主】 光合成と葉緑体の関係について、他者と協力しながら、観察結果や資料などから考察しようとしている。【主】 蒸散の実験結果などを分析・解釈し、気孔が葉の裏側に多いことについて推論している。【思】 唾液には、デンプンを分解するはたらきがあることを理解している。【知】 血液循環のしくみについて、小学校段階での内容を理解し、問題を見いだしている。【思】 ヒトのおもな感覚器官のつくりと、刺激を受け取り脳に伝えるしくみを理解している。【知】
後期	【地球】 地球の大気と天気の変化 1章 地球をとり巻く大気の様子 2章 空気中の水の変化 3章 天気の変化と大気の動き 4章 大気の動きと日本の四季	<ul style="list-style-type: none"> 大気圧が空気の重さによって生じることを理解している。【知】 実験結果をもとに雲が発生する条件を見だし、雲のでき方を考えている。【思】 天気図から天気や風向・風力を読み取ったり、雲画像から雲の分布の特徴を読み取っている。【知】 低気圧や高気圧の移動の方向の規則性を見いだしている。【思】 天気が、陸や海からどのような影響を受けているか、進んで調べている。【主】 日本の四季の天気の特徴について説明している。【思】 気象要素や天気図雲画像などから天気の特徴を読み取っている。【知】
	【エネルギー】 電流の性質とその利用 1章 電流の性質 2章 電流の正体 3章 電流と磁界	<ul style="list-style-type: none"> 豆電球などを使って回路をつくり、電流の流れ方を調べている。【知】 直列回路と並列回路での豆電球の明るさの違いの原因について調べようとしている。【主】 実験3の結果から、抵抗器などに加わる電圧が大きくなると、流れる電流が大きくなることを見いだしている。【思】 2つの物体を摩擦して静電気を発生させ、どのような場合にしりぞけ合う力や引き合う力がはたらくか調べている。【知】 電流が流れているときは、電子が一極から+極に向かって流れていることをモデル化するなど、自分なりの方法で表現している。【主】 電流が磁界から受ける力の規則性や、モーターが回転するしくみを理解している。【知】

4. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> 授業の始まる前に自分の席に着席し、授業の準備をしておきましょう。 授業中は自分の考えを持ちながら集中して授業を聞きましょう。 授業の発問には積極的に挙手をし、発表しましょう。 観察・実験に積極的に取り組み、操作や記録方法をマスターしましょう。 提出物は必ず期限を守って提出しましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 授業で習ったところはプリントや教科書、ワークなどで確認し、復習しましょう。 問題の答え合わせは、丸やばつをつけるだけでなく、問題の意味を考え理解し、間違えた問題はもう一度解いてみましょう。 テストやワークで間違えた問題は、必ず間違えなくなるまでやり直しましょう。

第3学年 教科名 理科 年間評価計画

1. 学習のねらい

学習のねらい	自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。
使用教材	教科書：未来へひろがるサイエンス2（啓林館）・マイノート 補助教材：理科の自主学习2

2. 評価の観点および方法

評価の観点	評価の方法	評価			評定			
【知識・技能】 自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解、科学的に探究するために必要な観察・実験等の技能	・行動観察 ・発言 ・発表 ・パフォーマンステスト ・レポート ・ワークシート ・小テスト ・定期テストなど	A°	特に満足	5点	3 観点の合計点が、 15 14 点			
		A	十分満足	4点			5	
		B	おおむね満足	3点				
		C°	要努力	2点				
		C	一層要努力	1点				
【思考・判断・表現】 科学的に探究する力	・行動観察 ・発言 ・発表 ・ワークシート ・小テスト ・定期テストなど	A°	特に満足	5点	13 11 点			
		A	十分満足	4点			4	
		B	おおむね満足	3点				
		C°	要努力	2点	10 8 点			
		C	一層要努力	1点			3	
【主体的に学習に取り組む態度】 科学的に探求しようとする態度	・行動観察 ・発言 ・発表 ・自己評価 ・ポートフォリオ ・レポート ・ワークシートなど	A°	特に満足	5点	7 5 点			
		A	十分満足	4点			2	
		B	おおむね満足	3点				
		C°	要努力	2点	4 3 点			
		C	一層要努力	1点			1	

3. 学習計画

		各単元と主な内容	観点別評価の具体例
前期	4月～7月	【生命】 生命の連続性 1章 生物のふえ方と成長 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化	<ul style="list-style-type: none"> 観察や話し合い活動をするなどして、生物のふえ方の共通点と相違点や、親と子の特徴の関係性を見いだしている。【思】 ソラマメの根の成長の観察や、根の細胞の写真などから、細胞の数や染色体の存在に気づき、説明している。【知】 メンデルの実験結果から、親から子、子から孫への遺伝子の伝わり方について説明し、モデル化する実験計画を立てられている。【思】 生物は長い時間をかけて変化して多様な種類が生じたことについて、問題を見だし、表現している。【思】
		【物質】 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン 3章 酸・アルカリと塩	<ul style="list-style-type: none"> どのような水溶液に電流が流れるかを調べる実験を、正しく安全に行っており、結果を記録している。【知】 塩酸中では、塩素原子は-の電気を帯びた粒子になっていることを推論している。【思】 電池の基本的なしくみについて、見通しをもったり、ふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。【主】 酸性やアルカリ性の水溶液に共通する性質があることに進んで関わり、その性質のもとになるものがあると考えようとしている。【主】
後期	8月～12月	【エネルギー】 運動とエネルギー 1章 力の合成と分解 2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り変わり 5章 エネルギー資源とその利用	<ul style="list-style-type: none"> 水圧は水の重さによって生じ、深さが深いほど大きく、あらゆる向きにはたらくことを理解している。【知】 2力と同じはたらきをする1つの力を求めることを力の合成、合成した力を合力といい、力の平行四辺形の法則によって合力を求めることができることを理解している。【主】 斜面上の物体にはたらく重力を、斜面に垂直な方向と平行な方向に分解して、斜面に垂直・平行な方向にはたらく力を考察している。【思】 他者とかかわりながら、物体のもつエネルギーを、小球を転がす速さや質量を変えてくいにぶつけて調べている。【主】 エネルギーを利用していくときに、エネルギー資源の枯渇や環境に対する影響などが問題になると考えている。【思】
		【地球】 宇宙を観る 1章 地球から宇宙へ 2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方	<ul style="list-style-type: none"> 天体望遠鏡を用いて、安全に太陽を投影板に投影し、黒点をスケッチしている。【知】 太陽の1日の動きを観察し、透明半球を用いて記録をとっている。【知】 地球の公転によって、真夜中の南の空に見える星座が季節によって変化することを発表している。【思】 金星の見え方の変化について課題を設定し、根拠のある仮説や妥当なモデル実験の計画を立案している。【思】
	1月～3月	【環境】 自然と人間 1章 自然界のつり合い 2章 さまざまな物質の利用と人間 3章 科学技術の発展 4章 人間と環境 5章 持続可能な社会をめざして	<ul style="list-style-type: none"> 食物連鎖の数量的な関係がピラミッドの形になっていることやそのつり合いの変化について理解している。【知】 学習内容をふり返り、生産者、消費者、分解者の関係を関連づけながら、生態系について考えようとしている。【主】 プラスチックの性質を調べる実験を、正しく安全に行い、記録をとっている。【知】 実験の結果から、人間の生活と身近な環境との関係について推測するとともに、根拠をもって考察し、判断している。【思】 研究をふり返り、ほかの人の意見をもとに、新たな疑問や課題を見いだそうとしている。【主】

4. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> 授業の始まる前に自分の席に着席し、授業の準備をしておきましょう。 授業中は自分の考えを持ちながら集中して授業を聞きましょう。 授業の発問には積極的に挙手をし、発表しましょう。 観察・実験に積極的に取り組み、操作や記録方法をマスターしましょう。 提出物は必ず期限を守って提出しましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 授業で習ったところはプリントや教科書、ワークなどで確認し、復習しましょう。 問題の答え合わせは、丸やばつをつけるだけでなく、問題の意味を考え理解し、間違えた問題はもう一度解いてみましょう。 テストやワークで間違えた問題は、必ず間違えなくなるまでやり直しましょう。

第1学年 音楽 科

1. 学習のねらい

学習のねらい	音楽によって生活を明るく豊かなものにしよう
使用教材	教科書 : 教育芸術社中学生の音楽1 中学生の器楽 補助教材 :

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
知識・技能	<p>知識</p> <p>歌唱 ・ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり ・ 音色や響き、言葉の特性、曲種に応じた発声</p> <p>器楽 ・ 曲想、音楽の構造、曲の背景 ・ 音色や響き、奏法</p> <p>創作 ・ 音のつながり方の特徴 ・ 音素材の特徴、構造上の特徴</p> <p>鑑賞 ・ 曲想、音楽の構造 ・ 背景となる文化、歴史 ・ 日本やアジアの音楽の特徴、多様性</p> <p>技能</p> <p>歌唱 ・ 発声、発音、身体の使い方 ・ 響きや声を聴いて合わせられる</p> <p>器楽 ・ 奏法、身体の使い方 ・ 響きや音を聴いて合わせられる</p> <p>創作 ・ 音の選択、組み合わせ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察, ワークシート ・ 実技テスト ・ 演奏
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌唱表現を工夫できる。 ・ 曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する ・ 創作表現を創意工夫する。 ・ 曲や演奏に対する評価、社会における意味、役割、表現の共通性、固有性を自分なりに考え、味わって聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察, ワークシート ・ 実技テスト ・ 演奏
主体的に 学習に取り 組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各時の取組を総括的に評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各時の取組を総括的に評価する。

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
1年 前期	新しい仲間と共に明るい歌声を響かせよう	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>[思] 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう	<p>[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。</p> <p>[思] 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	音楽の特徴から情景を創造しよう	<p>[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>[思] 音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	イメージと音楽のかかわりを感じ取ろう	<p>[知] 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について表したいイメージと関わらせて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。</p> <p>[思] 音色、リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	曲想やパートの役割を感じ取って、表現を工夫しよう	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>[思] 音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
1年 後期	音のつながり方を生かして、表現を工夫しよう	<p>[知] 音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。</p> <p>[思] リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	<p>[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>[思] 音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚しそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	ギターを弾こう	<p>[知] 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。</p> <p>[思] 音色、速度、旋律、構成を知覚しそれらの働きが生み出す特質や雰</p>

		<p>困気を感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考えどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	<p>[知] 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。</p> <p>[思] 音色、速度、旋律、構成を知覚しそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考えどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	曲の構成や曲想の変化を生かして、表現を工夫しよう	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>[思] 音色、速度、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう	<p>[知] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。</p> <p>[思] 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

4. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・表現活動の基本は、正しい姿勢です。歌唱、器楽共に背中をしっかりと伸ばして活動しましょう。 ・素直な気持ちで取り組むと美しい表現ができます。目指す演奏をイメージすることが上達の一步です。 ・色々な曲を楽しみましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な曲を聴いてみましょう。 ・毎日楽しく歌ってみましょう。

第2学年 音楽 科

1. 学習のねらい

学習のねらい	音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいこう
使用教材	教科書 : 教育芸術社中学生の音楽2 中学生の器楽 補助教材 :

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
知識・技能	<p>知識</p> <p>歌唱 ・ 曲想と音楽の構造、歌詞の内容、曲の背景 ・ 音色や響き、言葉の特性、曲種に応じた発声</p> <p>器楽 ・ 曲想、音楽の構造、曲の背景 ・ 音色や響き、奏法</p> <p>創作 ・ 音階や言葉の特徴、音のつながり方の特徴 ・ 音素材の特徴、構造上の特徴</p> <p>鑑賞 ・ 曲想、音楽の構造 ・ 背景となる文化、歴史 ・ 日本や世界の音楽の特徴、多様性</p> <p>技能</p> <p>歌唱 ・ 発声、発音、身体の使い方 ・ 響きや声を聴いて合わせられる</p> <p>器楽 ・ 奏法、身体の使い方 ・ 響きや音を聴いて合わせられる</p> <p>創作 ・ 音の選択、組み合わせ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察, ワークシート ・ 実技テスト ・ 演奏
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲にふさわしい歌唱表現を工夫できる。 ・ 曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する ・ まとまりのある創作表現を創意工夫する。 ・ 曲や演奏に対する評価、社会における意味、役割、表現の共通性、固有性を考え、味わって聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察, ワークシート ・ 実技テスト ・ 演奏
主体的に 学習に取り 組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各時の取組を総括的に評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各時の取組を総括的に評価する。

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
2 年 前 期	曲想と曲の構成を感じ取って、表現を工夫しよう	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>[思] 音色、リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	パートの役割を理解し、曲想を生かして、表現を工夫しよう	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>[思] リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	<p>[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>[思] 音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	オペラの特徴を理解して、その魅力を味わおう	<p>[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>[思] 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、表現を工夫しよう	<p>[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>[思] 音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

2 年 後 期	言葉の抑揚を生かして、表現を工夫しよう	<p>[知] 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。</p> <p>[思] リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	歌舞伎の特徴を理解して、その魅力を味わおう	<p>[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。</p> <p>[思] 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>[態] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	パートの役割を理解し、曲想を生かして、表現を工夫しよう	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>[思] リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	<p>[知] 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。</p> <p>[思] 音色、速度、旋律、構成を知覚しそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考えどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	ギターを弾こう	<p>[知] 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。</p> <p>[思] 音色、速度、旋律、構成を知覚しそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考えどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>

仲間とともに、表情豊かに合唱しよう		<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>[思] 音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
世界の様々な音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう		<p>[知] 諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。</p> <p>[思] 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>[態] 諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

4. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・表現活動の基本は、正しい姿勢です。歌唱、器楽共に背中をしっかりと伸ばして活動しましょう。 ・素直な気持ちで取り組むと美しい表現ができます。目指す演奏をイメージすることが上達の一步です。 ・色々な曲を楽しみましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な曲を聴いてみましょう。 ・毎日楽しく歌ってみましょう。

第3学年 音楽 科

1. 学習のねらい

学習のねらい	音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいこう
使用教材	教科書：教育芸術社 中学生の音楽3 中学生の器楽 補助教材：

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
知識・技能	<p>知識</p> <p>歌唱 ・ 曲想と音楽の構造、歌詞の内容、曲の背景 ・ 音色や響き、言葉の特性、曲種に応じた発声</p> <p>器楽 ・ 曲想、音楽の構造、曲の背景 ・ 音色や響き、奏法</p> <p>創作 ・ 音階や言葉の特徴、音のつながり方の特徴 ・ 音素材の特徴、構造上の特徴</p> <p>鑑賞 ・ 曲想、音楽の構造 ・ 背景となる文化、歴史 ・ 日本や世界の音楽の特徴、多様性</p> <p>技能</p> <p>歌唱 ・ 発声、発音、身体の使い方 ・ 響きや声を聴いて合わせられる</p> <p>器楽 ・ 奏法、身体の使い方 ・ 響きや音を聴いて合わせられる</p> <p>創作 ・ 音の選択、組み合わせ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察, ワークシート ・ 実技テスト ・ 演奏
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲にふさわしい歌唱表現を工夫する。 ・ 曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する ・ まとまりのある創作表現を創意工夫する。 ・ 曲や演奏に対する評価、社会における意味、役割、表現の共通性、固有性について考え、味わって聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察, ワークシート ・ 実技テスト ・ 演奏
主体的に 学習に取り 組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各時の取組を総括的に評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各時の取組を総括的に評価する。

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
3 年 前 期	日本の歌のよさや美しさを味わい、表現を工夫しよう	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>[思] 旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	<p>[知] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。</p> <p>[思] 音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	音階の特徴及び音のつながり方の特徴を生かして、表現を工夫しよう	<p>[知] 音階の特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。</p> <p>[思] リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 音階の特徴及び音のつながり方の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	全体の響きや各声部の役割を生かして、表現を工夫しよう	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>[思] 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>

3 年 後 期	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	<p>[知] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。</p> <p>[思] 音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	日本の伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	<p>[知] 我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。</p> <p>[思] 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>[態] 我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	ギターを弾こう	<p>[知] 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。</p> <p>[思] 音色、速度、旋律、構成を知覚しそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考えどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>[思] 音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	<p>[知] 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。</p> <p>[思] 音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>[態] 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

4. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none">・表現活動の基本は、正しい姿勢です。歌唱、器楽共に背中をしっかりと伸ばして活動しましょう。・素直な気持ちで取り組むと美しい表現ができます。目指す演奏をイメージすることが上達の一步です。・色々な曲を楽しみましょう。
家庭	<ul style="list-style-type: none">・色々な曲を聴いてみましょう。・毎日楽しく歌ってみましょう。

第1学年 美術

1. 学習のねらい

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ○形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果などを理解すること。 ○造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。 ○材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。 ○材料や用具の特性などから制作の手順などを考えながら、見通しをもって表すこと。 	定期試験から美術に対する知識理解を見とる【知】 出来上がった作品の完成度【技】
②思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ○対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分などの関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 	アイデアスケッチ【思】 決められた期限内に作品が完成しているかどうか【判】 作品への創意工夫【表】
③学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。 	作品から制作への意欲を見とる【学】 学習の準備や片づけを適切に行う【学】 創造活動に意欲をもって取り組んでいる【人】 自分の席で集中して制作し、周囲に迷惑をかけないように制作環境づくりを意識する【人】

3. 学習計画

前期	【題材名】	「丸と線の世界」～プッシュステンドで学ぶ色彩効果～
	【学習の方向性】	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かに発想し構想を練り、創意工夫して美しく平面に表す。 ○美術作品などの造形的なよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げる。 【A表現(1)イ(2)】【B鑑賞ア】【共通事項】
	【題材目標】	<ul style="list-style-type: none"> ○色彩や形などの性質や、それらが感情にもたらす効果などについて理解するとともに、材料や用具を生かし、構成作品に表すことができるようにする。【知・技】 ○配色からイメージして発想を広げ、構成の目的から主題を生み出し、調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練ったり、美術作品などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。【思・判・表】 ○主体的に制作に取り組み完成した作品を通して創造活動の喜びや満足感を十分に味わい、心豊かな生活を創造していく態度を養う。【主体的】

	【題材名】	「サインボードの世界」～好きな教室の表札を作ろう～
	【学習の方向性】	○普段使っている教室から感じ取ったことや考えたことなどを基に主題を生み出し、豊かに発想し構想を練り、創意工夫して美しく描いたりつくったりする。 ○作品の造形的なよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を深める。 【A表現（1）ア（2）】【B鑑賞ア】〔共通事項〕
後期	【題材目標】	○レタリングの字の形を捉える造形的な視点について理解するとともに、教室の特徴に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。【知・技】 ○好きな教室から感じ取った情景の特徴や美しさを基に主題を生み出し、レタリングの文字と絵や模様との関係などを考え、豊かに発想し構想を練ったり、美術に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。【思・判・表】 ○楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。【主体的】
	【題材名】	「四季彩（しきさい）の世界」～春夏秋冬を色彩で表そう～
	【学習の方向性】	○感じ取ったことや考えたことなどを基に主題を生み出し、豊かに発想し構想を練り、創意工夫して美しく描いたりつくったりする。 ○美術作品などの造形的なよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を深める。 【A表現（1）ア（2）】【B鑑賞ア】〔共通事項〕
	【題材目標】	○季節などを捉える造形的な視点について理解するとともに、感情や意図に応じて水彩絵の具などの表現方法を工夫して表すことができるようにする。【主体的】 ○季節から感じ取った情景や色彩の特徴や美しさを基に主題を生み出し、色と季節の関係をなどを考え、豊かに発想し構想を練ったり、美術に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。【思・判・表】 ○楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。【主体的】

4. 学習方法へのアドバイス

学	課題の導入で説明する内容をしっかり覚え、見通しをたてて制作を進めましょう。
校	テーマに沿ったものをよく考えてていねいに制作しましょう。
家	道具の名前や作業手順など、授業中に学習した内容をしっかり復習し、自身の制作や定期試験などに備えましょ
庭	う。

5. 使用教材

教科書：美術1

補助教材：美術資料（神奈川美術）、レタリング・ポスターの資料

第2学年 美術

1. 学習のねらい

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ○形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果などを理解すること。 ○造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。 ○材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。 ○材料や用具の特性などから制作の手順などを考えながら、見通しをもって表すこと。 	定期試験から美術に対する知識理解を見とる【知】 出来上がった作品の完成度【技】
②思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ○対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分などの関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 	アイデアスケッチ【思】 決められた期限内に作品が完成しているかどうか【判】 作品への創意工夫【表】
③学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。 	作品から制作への意欲を見とる【学】 学習の準備や片づけを適切に行う【学】 創造活動に意欲をもって取り組んでいる【人】 自分の席で集中して制作し、周囲に迷惑をかけないように制作環境づくりを意識する【人】

3. 学習計画

	【題材名】	「点描画の世界」～浮世絵×〇〇で新しい世界を作ろう～
前期	【学習の方向性】	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的な視点に立って主題を生み出し、豊かに発想し構想を練り、総合的に創意工夫して美しく平面や立体に表す。 ○美術作品などの造形的なよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を深める。 【A表現(1)イ(2)】【B鑑賞ア】【共通事項】
	【題材目標】	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の浮世絵などの文化を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して作品に表すことができるようにする。 ○浮世絵が表す日本の自然の造形や、書、美術作品の文化などの造形的なよさや美しさと調和について考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 ○美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

	【題材名】	「木彫スプーンの世界」～あの人にプレゼントしたい～
	【学習の方向性】	○社会的な視点に立って主題を生み出し、豊かに発想し構想を練り、総合的に創意工夫して美しく平面や立体に表す。 ○美術作品などの造形的なよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を深める。 【A表現(1)イ(2)】【B鑑賞ア】〔共通事項〕
後 期	【題材目標】	○木彫スプーンの魅力をつかめる造形的な視点について理解するとともに、木彫の表現方法を創意工夫し、デザインに創造的に表すことができるようにする。 ○造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫について考え、他者の視点に立って、表した木彫作品への思いや良さを伝達するために発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 ○美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
	【題材名】	「線織面の世界」～自分のDVDジャケットを作ろう～
	【学習の方向性】	○社会的な視点に立って主題を生み出し、豊かに発想し構想を練り、総合的に創意工夫して美しく平面や立体に表す。 ○美術作品などの造形的なよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を深める。 【A表現(1)イ(2)】【B鑑賞ア】〔共通事項〕
	【題材目標】	○自分の魅力を捉える造形的な視点について理解するとともに、線織面と色を活用するなど表現方法を創意工夫し、デザインに創造的に表すことができるようにする。 ○造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫について考え、他者の視点に立って、表した線織面作品への思いや良さを伝達するために発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 ○美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

4. 学習方法へのアドバイス

学 校	課題の導入で説明する内容をしっかり覚え、見通しをたてて制作を進めましょう。 テーマに沿ったものをよく考えてていねいに制作しましょう。
家 庭	作品の鑑賞で学んだことなど、授業中に学習した内容をしっかり復習し、自身の制作や定期試験などに備えましょう。

5. 使用教材

教科書：美術2・3上下

補助教材：美術資料（神奈川の美術）、レタリング・ポスターの資料

第3学年 美術

1. 学習のねらい

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ○形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果などを理解すること。 ○造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。 ○材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。 ○材料や用具の特性などから制作の手順などを考えながら、見通しをもって表すこと。 	定期試験から美術に対する知識理解を見とる【知】 出来上がった作品の完成度【技】
②思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ○対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分などの関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 	アイデアスケッチ【思】 決められた期限内に作品が完成しているかどうか【判】 作品への創意工夫【表】
③学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。 	作品から制作への意欲を見とる【学】 学習の準備や片づけを適切に行う【学】 創造活動に意欲をもって取り組んでいる【人】 自分の席で集中して制作し、周囲に迷惑をかけないように制作環境づくりを意識する【人】

3. 学習計画

	【題材名】	「 遠近法の世界 」～スクラッチで表す3Dワールド～
前期	【学習の方向性】	<ul style="list-style-type: none"> ○感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し構想を練り、創意工夫して美しく描いたり作ったりする。 ○美術作品などの造形的なよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を深める。 【A表現(1)ア(2)】【B鑑賞ア】〔共通事項〕
	【題材目標】	<ul style="list-style-type: none"> ○遠近法を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて透視図法による表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。 ○心の中を見つめて考えたことなどから主題を生み出し、構成や用具の活かし方などを工夫して創造的に表現する構想を練ったり、遠近法に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 ○主体的にスケッチに表す活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術作品を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

	【題材名】	「スクラッチタイルの世界」～自分だけのコースターを作ろう～
	【学習の方向性】	○社会的な視点に立って主題を生み出し、豊かに発想し構想を練り、総合的に創意工夫して美しく平面や立体に表す。 【A表現(1)イ(2)】【B鑑賞ア】〔共通事項〕
後期	【題材目標】	○造形的な視点でスクラッチという素材が感情にもたらす効果を理解するとともに、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。 ○コースターを用いる場面や生活との関わりなどから主題を生み出し、構成や用具の生かし方などを工夫して創造的に表現する構想を練ったり、生活や社会の中で働く美術に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 ○身近なコースターのデザインに目を向け、そのよさや美しさを感じ取るとともに、デザインによって心豊かな生活を創造していこうとする態度を養う。
	【題材名】	「印鑑の世界」～自分ってどんな形？～
	【学習の方向性】	○社会的な視点に立って主題を生み出し、豊かに発想し構想を練り、総合的に創意工夫して美しく平面や立体に表す。 【A表現(1)イ(2)】【B鑑賞ア】〔共通事項〕
	【題材目標】	○造形的な視点で石という素材が感情にもたらす効果を理解するとともに、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。 ○印鑑を用いる場面や生活との関わりなどから主題を生み出し、構成や用具の生かし方などを工夫して創造的に表現する構想を練ったり、生活や社会の中で働く美術に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 ○身近な印鑑のデザインに目を向け、そのよさや美しさを感じ取るとともに、デザインによって心豊かな生活を創造していこうとする態度を養う。

4. 学習方法へのアドバイス

学	課題の導入で説明する内容をしっかり覚え、見通しをたてて制作を進めましょう。
校	テーマに沿ったものをよく考えてていねいに制作しましょう。
家	作品の鑑賞で学んだことなど、授業中に学習した内容をしっかり復習し、自身の制作や定期試験などに備えましょう。
庭	

5. 使用教材

教科書：美術2・3上下

補助教材：美術資料（神奈川の美術）、レタリング・ポスターの資料

第1・2学年 保健体育

1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>○運動の合理的な実戦を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身につけ、運動を豊かに実践することができるようにする。</p> <p>○運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。</p> <p>○運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。</p> <p>○個人生活における健康・安全に関する理解を通して生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p>
使用教材	<p>教科書：</p> <p>補助教材：新保健ワーク、ステップアップ</p>

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
① 知識及び技能	<p>運動の特性と運動の合理的な実戦に関する基礎的な事項や生活における運動の意義を理解し、知識を身につけている。</p> <p>また、個人生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。</p> <p>運動の楽しさや喜びを味わうために必要な技能や体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけている。</p>	<p>授業での動き スキルチェック 期末テスト授</p>
② 思考・判断・表現	<p>自己の能力に適した運動の課題を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。また、個人生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。</p>	<p>授業での動き 学習カード</p>
③ 主体的に学習に取り組む能力	<p>自ら進んで運動を実戦し、運動の楽しさや喜びを体得しようとする。また、個人生活における健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。</p>	<p>授業での動き 学習カード</p>

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
1・2 年 1 学期	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の変化に気づき、身体ほぐしや体力を高める運動が正しくできるようにしようとする。(主) ・目的に合わせた運動を実施できる工夫をしている。(思)
	器械運動	<ul style="list-style-type: none"> ・器械運動の特性に応じ、運動技能を高め、美しく行うことができる。(知・技) ・器械運動の技能の要領を理解するとともに実践でき、その知識を身につけている。(知・技) ・常に課題を持ち、技がよりよくできるように工夫している。(思) ・健康安全に留意し、協力して練習ができるようにしようとする。(主)
	ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい動きを身につけ、全身を使って音楽やリズムに合わせた力強い動きを楽しく踊ることができる。(知・技) ・ソーラン節についての由来や動きの意味を理解し、知識を身につけている。(知・技) ・課題の解決を目指して、練習の仕方を工夫している。(思) ・互いを認め合い、民謡的な動きや動きの意味を考え、意欲的に練習や演技をできるようにしようとする。(主)
	水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・技能を高めて距離を伸ばしたり、記録を向上させたりすることができる。(知・技) ・合理的な運動の仕方を理解するとともに、競技や運動方法を理解し、知識を身につけている。(知・技) ・課題の解決を目指して、練習や競技の仕方を工夫している。(思) ・互いに協力しながら全力を発揮し、事故防止の心得を認識し、練習や競技をできるようにしようとする。(主)

	保健分野	<p><1年></p> <ul style="list-style-type: none"> 心身の調和を保つことが大切であることを理解し、知識を身につけている。(知) 将来の健康に向けて、適切な態度や行動の選択について考え、判断することができる。(思) 生涯にわたって健康な生活を送ろうとする態度を身につけようとしている。(主) <p><2年></p> <ul style="list-style-type: none"> 環境と心身の健康との関わりについての基礎的な知識を学習し、身につけている。(知・技) 生活に適した環境条件・廃棄物の衛生的処理・改善方法について考え、判断することができる。(思) 健康に適した快適な環境を維持し、必要に応じてその改善を図ろうとする態度を身に付けようとしている。(主)
1・2年 2学期	陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> 技能を高めて競い合ったり、記録を向上させたりすることができる。(知・技) 合理的な運動の仕方を理解するとともに競技や運動方法を理解し、知識を身につけている。(知・技) 課題の解決を目指して、練習や競技の仕方を工夫している。(思) 互いに協力しながら全力を発揮し、健康や安全に注意して練習や競技をできるようにしようとする。(主)
	柔道	<ul style="list-style-type: none"> 相手との攻防を通じた練習の中で、基本動作や対人技能を身につけようとする。(知・技) 審判法やルールを理解し、練習や試合を安全に運営できるようにしようとしている。(知・技) 課題の解決を目指して、練習や競技の仕方を工夫している。(思) 伝統的な考え方や行動を身に付け、健康や安全に注意して練習をできるようにしようとする。(主)
	球技 (ゴール型)	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決のために協力し、健康や安全に注意して練習やゲーム競技をできるようにしようとする。(主) 課題の解決を目指して、練習や競技の仕方を工夫している。(思) 球技種目の特性に応じた技能を身につけようとする。(知・技) ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防を展開する。(知・技) 球技種目の特性や学び方、技術の構造、ルールなどを理解しようとする。(知・技)
	球技 (ベースボール型)	<ul style="list-style-type: none"> 球技種目の特性に応じた技能を身につけようとする。(知・技) 基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防を展開する。(知・技) 球技種目の特性や学び方、技術の構造、ルールなどを理解しようとする。(知・技) 課題の解決を目指して、練習や競技の仕方を工夫している。(思) 課題解決のために協力し、健康や安全に注意して練習やゲーム競技をできるようにしようとする。(主)
	保健分野	<p><1年></p> <ul style="list-style-type: none"> 心身の調和を保つことが大切であることを理解し、知識を身につけている。(知) 将来の健康に向けて、適切な態度や行動の選択について考え、判断することができる。(思) 生涯にわたって健康な生活を送ろうとする態度を身につけようとしている。(主) <p><2年></p> <ul style="list-style-type: none"> 障害の状態に応じた応急手当の方法を理解し、技能を身につけようとしている。(知) 安全な行動・環境の改善について適切な対策や行動選択について考え、判断することができる。(思) 障害の発生原因について理解を深め、安全な生活を送る態度を身につけようとしている。(主)
	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> 運動の心身にわたる効果を理解し、知識を身につけている。(知) 運動の効果について関心を持ち、運動の実態や生活に生かそうと進んで学習に取り組もうとしている。(主)
1・2年 3学期	球技 (ネット型)	<ul style="list-style-type: none"> 球技種目の特性に応じた技能を身につけようとする。(知・技) ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開する。(知・技) 球技種目の特性や学び方、技術の構造、ルールなどを理解しようとする(知・技) 課題の解決を目指して、練習や競技の仕方を工夫している。(思) 課題解決のために協力し、健康や安全に注意して練習やゲーム競技をできるようにしようとする。(主)

4. 学習方法についてのアドバイス

学校	運動だけでなく、準備片付けなど積極的に取り組む。 自己の課題解決に向け、振り返りの学習カードを活用する。
家庭	規則正しい生活を心がけ、健康に留意する。

第3学年 保健体育

1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>○運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身につけ、運動を豊かに実践することができるようにする。</p> <p>○運動を適切に行うことによって、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、心身の調和的発達を図る。</p> <p>○運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。</p> <p>○個人生活における健康・安全に関する理解を通して生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p>
使用教材	<p>教科書：</p> <p>補助教材：新保健ワーク・ステップアップ</p>

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
① 知識及び技能	<p>運動の特性と運動の合理的な実践に関する基礎的な事項や生活における運動の意義を理解し、知識を身につけている。また、個人生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。</p> <p>運動の楽しさや喜びを味わうために必要な技能や体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけている。</p>	<p>授業での動き スキルチェック 期末テスト授</p>
② 思考・判断・表現	<p>自己の能力に適した運動の課題を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。また、個人生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。</p>	<p>授業での動き 学習カード</p>
③ 主体的に学習に取り組む能力	<p>自ら進んで運動を実践し、運動の楽しさや喜びを体得しようとする。また、個人生活における健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。</p>	<p>授業での動き 学習カード</p>

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
3年 1学期	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に合わせた運動を実施できる工夫をしている。(思) ・身体の変化に気づき、身体ほぐしや体力を高める運動が正しくできるようにしようとする。(主)
	器械運動	<ul style="list-style-type: none"> ・器械運動の特性に応じ、運動技能を高め、美しく行うことができる。(知・技) ・器械運動の技能の要領を理解するとともに実践でき、その知識を身につけている。(知・技) ・常に課題を持ち、技がよりよくできるように工夫している。(思) ・健康安全に留意し、協力して練習ができるようにしようとする。(主)
	ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい動きを身につけ、全身を使って音楽やリズムに合わせた力強い動きを楽しく踊ることができる。(知・技) ・ソーラン節についての由来や動きの意味を理解し、知識を身につけている。(知・技) ・課題の解決を目指して、練習の仕方を工夫している。(思) ・互いを認め合い、民謡的な動きや動きの意味を考え、意欲的に練習や演技をできるようにしようとする。(主)
	水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・技能を高めて距離を伸ばしたり、記録を向上させたりすることができる。(知・技) ・合理的な運動の仕方を理解するとともに、競技や運動方法を理解し、知識を身につけている。(知・技) ・課題の解決を目指して、練習や競技の仕方を工夫している。(思) ・互いに協力しながら全力を発揮し、事故防止の心得を認識し、練習や競技をできるようにしようとする。(主)

	保健分野	<ul style="list-style-type: none"> 心身の調和の取れた生活が大切であることを理解し、日常生活に役立つ知識を習得しようとしている。(知・技) 喫煙・飲酒・薬物乱用について学習し、適切な行動を判断することができる。(思) 健康を保持増進し、疾病を予防する態度を身につけようとしている。(主)
3年 2学期	陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> 技能を高めて競い合ったり、記録を向上させたりすることができる。(知・技) 合理的な運動の仕方を理解するとともに競技や運動方法を理解し、知識を身につけている。(知・技) 課題の解決を目指して、練習や競技の仕方を工夫している。(思) 互いに協力しながら全力を發揮し、健康や安全に注意して練習や競技をできるようにしようとする。(主)
	柔道	<ul style="list-style-type: none"> 相手との攻防を通した練習の中で、基本動作や対人技能を身につけようとする。(知・技) 審判法やルールを理解し、練習や試合を安全に運営できるようにしようとしている。(知・技) 課題の解決を目指して、練習や競技の仕方を工夫している。(思) 伝統的な考え方や行動を身に付け、健康や安全に注意して練習をできるようにしようとする。(主)
	保健分野	<ul style="list-style-type: none"> 心身の調和の取れた生活が大切であることを理解し、日常生活に役立つ知識を習得しようとしている。(知) 喫煙・飲酒・薬物乱用について学習し、適切な行動を判断することができる。(思) 健康を保持増進し、疾病を予防する態度を身につけようとしている。(主)
	球技 (ベースボール型)	<ul style="list-style-type: none"> 球技種目の特性に応じた技能を身につけようとする。(知・技) 基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防を展開する(知・技) 球技種目の特性や学び方、技術の構造、ルールなどを理解しようとする。(知・技) 課題の解決を目指して、練習や競技の仕方を工夫している。(思) 課題解決のために協力し、健康や安全に注意して練習やゲーム競技をできるようにしようとする。(主)
3年 2・3学期	球技 (ゴール型)	<ul style="list-style-type: none"> 球技種目の特性に応じた技能を身につけようとする。(知・技) ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防を展開する。(知・技) 球技種目の特性や学び方、技術の構造、ルールなどを理解しようとする。(知・技) 課題の解決を目指して、練習や競技の仕方を工夫している。(思) 課題解決のために協力し、健康や安全に注意して練習やゲーム競技をできるようにしようとする。(主)
3年 3学期	球技 (ネット型)	<ul style="list-style-type: none"> 球技種目の特性に応じた技能を身につけようとする。(知・技) ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開する。 球技種目の特性や学び方、技術の構造、ルールなどを理解しようとする。(知・技) 課題の解決を目指して、練習や競技の仕方を工夫している。(思) 課題解決のために協力し、健康や安全に注意して練習やゲーム競技をできるようにしようとする。(主)
	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> 運動の心身にわたる効果を理解し、知識を身につけている。(知・技) 運動の効果について関心を持ち、運動の実態や生活に生かそうと進んで学習に取り組もうとしている。(主)

4. 学習方法についてのアドバイス

学校	運動だけでなく、準備片付けなど積極的に取り組む。 自己の課題解決に向け、振り返りの学習カードを活用する。
家庭	規則正しい生活を心がけ、健康に留意する。

第1学年 技術・家庭科

1. 学習のねらい

学習のねらい	○生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次の通り育成することを目指す。
使用教材	教科書：「技術・家庭 家庭分野」「技術・家庭 技術分野」開隆堂 補助教材：

2. 評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
知識・技能	<p>【技術分野】 生活や社会で利用されている技術について理解するとともに、それらに係る技術を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。</p> <p>【家庭分野】 家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。</p>	<p>【定期試験】</p> <p>【ワークシート】</p> <p>【製作品】</p> <p>【準備等】</p>
思考・判断・表現	<p>【技術分野】生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【家庭分野】これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>【定期試験】</p> <p>【ワークシート】</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>【技術分野】よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。</p> <p>【家庭分野】家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>	<p>【定期試験】</p> <p>【ワークシート】</p>

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
1 年前期	技術 オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について関心をもっている。 ・技術の進展と環境との関係について関心をもっている。
	技術分野 材料と加工に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な図法を用い、製作に必要な図を描き活用することができる。 ・ものづくりや環境問題に関心を持ち、生活をよりよくするために知識や技術を適切に活用しようとしている。 ・材料に適した加工法を考え、作業を計画的・能率的かつ安全に進める方法に関心を持っている。 ・技術の発達や環境保全を踏まえ、よりよい生活の実現を目指し工夫・創造する知識を身につけようとしている。 ・材料やその製作品に適した工具や加工法を選択し、安全・正確で効率的な作業をすることに心がけている。 ・材料に適した工具や加工法、作業の安全なすすめ方を理解している。
	家庭分野 食生活と自立	<p>中学生の食生活と栄養について関心をもって学習活動に取り組み、食生活をよりよくしようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常食の献立と食品の選び方について関心をもって学習活動に取り組み、食生活をよりよくしようとしている。 ・日常食の調理と地域の食文化について関心をもって学習活動に取り組み、食生活をよりよくするために実践しようとしている。 ・中学生の食生活と栄養について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。 ・日常食の献立と食品の選び方について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。 ・日常食の調理と地域の食文化について課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。 ・食品の選び方に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。 ・日常食や地域の食材を生かした調理に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。 ・中学生の食生活と栄養について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ・日常食の献立と食品の選び方について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。
1 年後期	技術分野 材料と加工に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに必要な技術や知識を実践的・体験的な活動を通して習得している。 ・技術の発達や活用を環境、資源との関係について理解している。
	技術分野 情報に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会において情報機器を適切に使用し活用している。 ・情報に関する技術の利用を適正に活用している。 ・安全に情報を利用するための基本的な仕組みやモラルについての知識を身につけている。
	家庭分野 衣生活・住生活と自立	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活、住生活などの生活の工夫について関心をもち、布を用いた物の製作などに取り組み、衣生活又は住生活を豊かにするために実践しようとしている。 ・衣生活、住生活などの生活の工夫について課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。 ・布を用いた物の製作や衣生活、住生活などの生活の工夫に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。 ・衣生活、住生活などの生活の工夫に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

4. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をせずしっかり準備しよう。 ・正しい道具の使い方を意識しよう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのものの仕組みに目を向けよう。 ・衣服や住環境の管理に積極的に取り組もう。

第2学年技術・家庭科

1. 学習のねらい

学習のねらい	○生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次の通り育成することを目指す。
使用教材	教科書：「技術・家庭 家庭分野」「技術・家庭 技術分野」東京書籍 補助教材：

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
知識・技能	<p>【技術分野】生活や社会で利用されている技術について理解するとともに、それらに係る技術を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。</p> <p>【家庭分野】家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。</p>	<p>【定期試験】</p> <p>【ワークシート】</p> <p>【製作品】</p> <p>【準備等】</p>
思考・判断・表現	<p>【技術分野】生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【家庭分野】これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>【定期試験】</p> <p>【ワークシート】</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>【技術分野】よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。</p> <p>【家庭分野】家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>	<p>【定期試験】</p> <p>【ワークシート】</p>

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
2 年前期 技術分野	生物育成に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会を築くために、生物育成に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。 ・生物育成に関する技術を身に付け、それらを創造・活用しようとしている。 ・目的や条件に応じて栽培の計画を立てるとともに、育成する生物の観察を通して成長の変化をとらえ、適切に対応し工夫している。 ・生物の適切な管理作業ができる。 ・生物を取り巻く生育環境が生物に及ぼす影響や、生物の育成に適する条件及び育成環境を管理する方法についての知識を身に付け、生物育成に関する技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。
	食生活と自立	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の食生活と栄養について関心をもって学習活動に取り組み、食生活をよりよくしようとしている。 ・日常食の調理と地域の食文化について関心をもって学習活動に取り組み、食生活をよりよくするために実践しようとしている。 ・中学生の食生活と栄養について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。 ・日常食や地域の食材を生かした調理に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。 ・中学生の食生活と栄養について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ・日常食の献立と食品の選び方について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ・地域の食文化の意義について理解するとともに、日常食や地域の食材を生かした調理に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
2 年後期 技術分野	エネルギーの変換に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会を築くために、エネルギー変換に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。 ・エネルギー変換に関する技術を身に付け、それらを創造・活用しようとしている。 ・よりよい社会を築くために、エネルギー変換に関する技術を適切に評価し活用している。 ・使用目的や使用条件に即して製作品の機能と構造を工夫している。 ・機器の保守点検と事故防止ができる。 ・製作品の組立て・調整や点検を行い、完成することができる。 ・エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組みについての知識を身に付け、エネルギー変換に関する技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。 ・エネルギー変換に関する技術を利用した製作品の設計・製作・調整についての知識を身に付けている。
	情報に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・情報に関する技術の利用を適正に活用している。 ・使用目的や使用条件に即してデジタル作品の設計を工夫している。 ・多様なメディアの複合、表現や発信ができる。 ・メディアの特徴と利用方法についての知識を身に付けている。
	身近な消費生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活と消費について関心をもって学習活動に取り組み、消費生活をよりよくしようとしている。 ・家庭生活と消費について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。 ・家庭生活と消費に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。 ・家庭生活と消費について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。
	衣生活・住生活の自立	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活、住生活などの生活の工夫について関心をもち、布を用いた物の製作などに取り組み、衣生活又は住生活を豊かにするために実践しようとしている。 ・衣生活、住生活などの生活の工夫について課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。 ・布を用いた物の製作や衣生活、住生活などの生活の工夫に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。 ・衣生活、住生活などの生活の工夫に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

4. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をせずしっかり準備しよう。 ・正しい道具の使い方を意識しよう。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのものの仕組みに目を向けよう。 ・自分が食べる食品、料理について意識してみよう。

第3学年 技術・家庭科

1. 学習のねらい

学習のねらい	○生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次の通り育成することを目指す。
使用教材	教科書：「技術・家庭 家庭分野」「技術・家庭 技術分野」東京書籍 補助教材：

2. 評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
知識・技能	<p>【技術分野】 生活や社会で利用されている技術について理解するとともに、それらに係る技術を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。</p> <p>【家庭分野】 家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。</p>	<p>【定期試験】</p> <p>【ワークシート】</p> <p>【製作品】</p> <p>【準備等】</p>
思考・判断・表現	<p>【技術分野】生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【家庭分野】これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>【定期試験】</p> <p>【ワークシート】</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>【技術分野】よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。</p> <p>【家庭分野】家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>	<p>【定期試験】</p> <p>【ワークシート】</p>

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
3 年 前 期 技 術 分 野	情報に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・情報に関する技術の活用を適正に行い、情報モラルを身に付けている。 ・目的や条件に応じて情報処理の手順を工夫している。 ・簡単なプログラムを作成し、活用できる。 ・コンピュータを用いた計測・制御の基本的な仕組みについての知識を身に付けている。
	家庭と家庭生活	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活と消費について関心をもち、家庭生活によりよくするために進んで学んだことを活用しようとしている。 ・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて関心を持っている。 ・幼児に関心をもち、意欲的に学習活動に取り組んでいる。 ・家庭と家族関係について関心をもち、意欲的に学習活動に取り組み、家庭生活をよりよくしようとしている。 ・幼児の心身の発達に適した遊びや遊び方について、自分なりの工夫や新たな方法を考えている。 ・家庭と家族関係について見直し、課題を見つけ、その解決方法を目指して自分なりに工夫している。 ・幼児の心身の発達に役立つものを作ることができる。 ・家庭と家族関係について調べたり、発表したりすることができる。 ・家庭生活と消費について家庭生活をよりよくするために必要な基礎的な知識を身につけている。 ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて気づいている。 ・幼児の遊びや幼児の発達と家族との関わりについて、基礎的な知識を身につけている。 ・課程や家族の基本的な機能について理解している。
3 年 後 期 技 術 分 野	情報に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・情報に関する技術の活用を適正に行い、情報モラルを身に付けている。 ・目的や条件に応じて情報処理の手順を工夫している。 ・簡単なプログラムを作成し、活用できる。 ・コンピュータを用いた計測・制御の基本的な仕組みについての知識を身に付けている。
	家庭と家庭生活	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活と消費について関心をもち、家庭生活によりよくするために進んで学んだことを活用しようとしている。 ・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて関心を持っている。 ・幼児に関心をもち、意欲的に学習活動に取り組んでいる。 ・家庭と家族関係について関心をもち、意欲的に学習活動に取り組み、家庭生活をよりよくしようとしている。 ・幼児の心身の発達に適した遊びや遊び方について、自分なりの工夫や新たな方法を考えている。 ・家庭と家族関係について見直し、課題を見つけ、その解決方法を目指して自分なりに工夫している。 ・幼児の心身の発達に役立つものを作ることができる。 ・家庭と家族関係について調べたり、発表したりすることができる。 ・家庭生活と消費について家庭生活をよりよくするために必要な基礎的な知識を身につけている。 ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて気づいている。 ・幼児の遊びや幼児の発達と家族との関わりについて、基礎的な知識を身につけている。 ・課程や家族の基本的な機能について理解している。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をせずしっかり準備しよう。 ・正しい道具の使い方を意識しよう。
家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある自動で動くものに注目してみよう。 ・自分の家族について考えよう。 ・身の回りの幼児に目を向けよう。

第1学年 英語科

1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>○外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけるようにする。</p> <p>○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について外国語で簡単な情報や考え方などを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
使用教材	教科書：HERE WE GO 1 光村図書 補助教材：HERE WE GO 1 光村図書 ペンマン

2. 評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
知識・技能	<p>【言語についての知識】</p> <p>○単語の発音の違いなど語句や文を正しく発音する知識を身に付けている。</p> <p>○場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。</p> <p>○語句や文の使い分けができる。</p> <p>○文構造についての知識がある。</p> <p>【文化についての理解】</p> <p>○家庭・学校や社会における日常生活や風俗習慣などを理解している。</p> <p>○人々のものの見方や考え方などの違いについて理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none">・教科書の音読・単語テスト・定期試験・提出物の内容
思考・判断・表現	<p>【聞くこと】</p> <p>○自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞き、必要な情報を正確に聞き取り、内容を理解する。</p> <p>○基本的な英語の発音の特徴をとらえ、正しく聞き取る。</p> <p>【読むこと】</p> <p>○文字や符号を識別し、正しく読むことができる。</p> <p>○目的に応じて英語を適切に読んで理解することができる。</p> <p>【話すこと】(やりとり・発表)</p> <p>○正しい姿勢、イントネーション、区切りなどを用いて話すことができる。</p> <p>○語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく話すことができる。</p> <p>○聞き手を意識して、強調したり繰り返したりして話すことができる。</p> <p>【書くこと】</p> <p>○語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく書くことができる。</p> <p>○内容的にまとまりのある文章を書くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none">・小テスト・単語テスト・音読テスト・教科書の音読・作文テスト・パフォーマンステスト・定期試験・提出物の内容
主体的に学習に取り組む態度	<p>【言語活動への取り組み】</p> <p>○相手の話を積極的に聞いたり、聞き返したりする。</p> <p>○英語を用いて、聞き手にわかりやすいように工夫し、自分の考えや気持ちを積極的に伝えようとしている。</p> <p>【コミュニケーションの継続】</p> <p>○相手と、間違いを恐れずに積極的にコミュニケーションを図り、伝えようとする。</p> <p>○自らが理解できる言葉を積極的に用いて、相手に言いたいことを伝えようとする。</p> <p>○ペアワークやグループワークなどにおいて協力し合っている。</p>	<ul style="list-style-type: none">・言語活動や、コミュニケーション活動の時間にどのように活動しているかを評価

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
1 年 前 期	Unit 1 Here We Go! ・会話から、その人の情報を聞き取ることができる。 ・自己紹介カードに、自分の情報を書くことができる。I am/ I like/ I can ・海外あての送り状に、宛名や住所を書くことができる。	・フォニックス、アルファベット【思・判・表】 ・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・リスニングテスト【思・判・表】 ・会話練習【主】【思・判・表】
	Unit 2 Club Activities ・会話から、好みや得意なことなどを聞き取ることができる。 ・好きなことや得意なことなどについて、たずね合うことができる。 ・Are you~/? / Do you~/? / Can you~/?	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・小テスト【思・判・表】 ・リスニングテスト【思・判・表】 ・会話練習【主】【思・判・表】
	Unit 3 Enjoy the Summer ・インタビューから、したいことなどを聞き取ることができる。 ・夏休みにしたいことについて、アンケートを取ることができる。 ・What do you ~ ?/ I like dancing. / I want to~ .	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・小テスト【思・判・表】 ・リスニングテスト【思・判・表】 ・会話練習【主】【思・判・表】
	・自分と相手のことを伝える言い方を理解することができる。 ・グループになって自己紹介をし合い、お互いの共通点・相違点を見つけることができる。・ am, are/ 一般動詞 / can	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・小テスト【思・判・表】
	Unit 4 Our New Friend ・人物紹介から、基本的な情報を聞き取ることができる。 ・身近な人などについて、基本的な情報を紹介することができる。 ・身近な人について、基本的な情報を紹介したり聞き取ったりして誰のことか当てるクイズをすることができる。 ・He is~ / She is~ / Who is~ ?/ Is he~ ?/ He isn't ~.	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・小テスト【思・判・表】 ・リスニングテスト【思・判・表】 ・会話練習【主】【思・判・表】
	Unit5 This is Our School ・学校公開の案内状から、時間や場所などを読み取ることができる。 ・お気に入りの学校内の施設について、たずね合うことができる。 ・Where is~ ?/ Watch your step./ When is~ ?	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・小テスト【思・判・表】 ・リスニングテスト【思・判・表】 ・会話練習【主】【思・判・表】
Daily Life 2 落とし物 ・落とし物の持ち主を探す言い方を理解し、スキットを演じることができる。 ・Whose ~ ?/ It's ~'s. / It's under ~.	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・会話練習【主】【思・判・表】	
1 年 後 期	Unit6 Cheer Up, Tina ・紹介文から、その人物が誰かを読み取ることができる。 ・身近な人の基本的な情報を伝える、紹介文を書くことができる。 ・3人称単数現在形を理解し、身近にいるすてきな人を紹介する。紹介文を書いたり、読んだりしてその人物が誰なのかを読み取ることができる。 ・She likes ~./ Does she ~ ?/ She doesn't ~.	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・小テスト【思・判・表】 ・リスニングテスト【思・判・表】 ・会話練習【主】【思・判・表】
	Daily Life 3 カフェ ・飲食店で、注文する言い方を理解し、スキットを演じることができる。 Can I~/? Which~/?/I'd like~/? How much ~?	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・会話練習【主】【思・判・表】
	・世界の時刻について、日本と世界の時差について知ることができる。 ・Yes や No で答えられない疑問詞について理解することができる。	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・会話練習【主】【思・判・表】
	Unit7 New Year Holidays in Japan ・はがきから、出来事や感想などを読み取ることができる。 ・冬休みの出来事や感想などを伝える、ハガキを書くことができる。 ・ウェブサイトから、必要な情報を読み取ることができる。 ・I went ~/ Did you~ ? / It was~ .	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・小テスト【思・判・表】 ・リスニングテスト【思・判・表】 ・会話練習【主】【思・判・表】
	Unit8 Getting Ready for the Party ・写真の説明から、その場の状況を聞き取ることができる。 ・現在進行形を理解し、写真に、状況を説明するキャプションを書くことができる。I am baking ~. / Are you baking~ ?/ It looks ~.	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・小テスト【思・判・表】 ・リスニングテスト【思・判・表】 ・会話練習【主】【思・判・表】
	Let's read 2: The Lion and the Mouse ・物語から、あらすじを読み取ることができる。 ・学校行事の紹介ページを作ることができる。	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・会話練習【主】【思・判・表】

4. 学習方法についてのアドバイス

学校	・積極的に授業に参加する。 ・音読に取り組む。声を出す。 ・分からないところは早めに質問するなどして解決する。
家庭	・単元の予習・復習をしっかりと行う。 ・教科書の音読練習を毎日する。 ・単語を覚えるまで、しっかりと取り組む。

第2学年 英語科

1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>○外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけるようにする。</p> <p>○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について外国語で簡単な情報や考え方などを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
使用教材	<p>教科書：HERE WE GO 2 光村図書</p> <p>補助教材：HERE WE GO 2 ワークブック</p>

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
知識・技能	<p>【言語についての知識】</p> <p>○単語の発音の違いなど語句や文を正しく発音する知識を身に付けている。</p> <p>○場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。</p> <p>○語句や文の使い分けができる。</p> <p>○文構造についての知識がある。</p> <p>【文化についての理解】</p> <p>○家庭・学校や社会における日常の生活や風俗習慣などを理解している。</p> <p>○人々のものの見方や考え方などの違いについて理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の音読 ・単語テスト ・定期試験 ・提出物の内容
思考・判断・表現	<p>【聞くこと】</p> <p>○自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞き、必要な情報を正確に聞き取り、内容を理解する。</p> <p>○基本的な英語の発音の特徴をとらえ、正しく聞き取る。</p> <p>【読むこと】</p> <p>○文字や符号を識別し、正しく読むことができる。</p> <p>○目的に応じて英語を適切に読んで理解することができる。</p> <p>【話すこと】（やりとり・発表）</p> <p>○正しい姿勢、イントネーション、区切りなどを用いて話すことができる。</p> <p>○語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく話すことができる。</p> <p>○聞き手を意識して、強調したり繰り返したりして話すことができる。</p> <p>【書くこと】</p> <p>○語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく書くことができる。</p> <p>○内容的にまとまりのある文章を書くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・単語テスト ・音読テスト ・教科書の音読 ・作文テスト ・パフォーマンステスト ・定期試験 ・提出物の内容
主体的に学習に取り組む態度	<p>【言語活動への取り組み】</p> <p>○相手の話を積極的に聞いたり、それに対して、聞き返したりする。</p> <p>○英語を用いて、聞き手にわかりやすいように工夫し、自分の考えや気持ちを積極的に伝えようとする。</p> <p>【コミュニケーションの継続】</p> <p>○相手と、積極的にコミュニケーションを図り、伝えようとする。</p> <p>○自らが理解できる言葉を積極的に用いて、相手に言いたいことを伝えようとする。</p> <p>○ペアワークやグループワークなどにおいて協力し合っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動や、コミュニケーション活動の時間にどのように活動しているかを評価

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
前期	Unit 1 Hajin's Diary ・日記から、出来事や感想などを読み取ることができる。 ・日記に出来事や感想などを書くことができる。 ★動詞の過去形、過去進行形	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・小テスト【思・判・表】 ・リスニングテスト【思・判・表】 ・会話練習【主】【思・判・表】
	Unit2 Basketball Tournament ・インタビューから、好きなことなどを聞き取ることができる。 ・好きなことやしたいことなどについて、たずね合うことができる。 ★動名詞／不定詞（名詞的用法） ・電話で、何かを頼んだり応じたりすることができる。May I? Can you?	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・小テスト【思・判・表】 ・リスニングテスト【思・判・表】 ・会話練習【主】【思・判・表】
	Unit3 Plans for the summer ・メールから予定や希望などを読み取ることができる。 ・予定や希望などを伝えるメールを書くことができる。 ★未来形 be going to / will	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・小テスト【思・判・表】 ・リスニングテスト【思・判・表】 ・会話練習【主】【思・判・表】
	・アナウンスから、必要な情報を聞き取ることができる。 ・物語から、出来事の経過を聞き取ることができる。 ・日本とは異なる単位について知ろう。 ・わが町観光プランをおすすめしよう。	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・会話練習【主】【思・判・表】 ・小テスト【思・判・表】
	・飲食店での注文・依頼 Shall I? / Will you? Unit4 Tour in New York City ★There is /There are / Show me the leaflet / a place to stay ・道案内 Could you? / How long? ・動詞の後ろにくる言葉：目的語	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・小テスト【思・判・表】 ・リスニングテスト【思・判・表】 ・会話練習【主】【思・判・表】 ・パフォーマンステスト【主】【思・判・表】
	Unit5 Earthquake Drill ・説明から、どんなものかを聞き取ることができる。 ・防災バッグに入れるものを決める話し合いをすることができる。 ★have to/don't have to/must/must not/should/should not ・複数の掲示物から、自分が必要とする情報を読み取ることができる。 ・体調をたずねたり、助言をしたりするやり取りができる。	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・小テスト【思・判・表】 ・リスニングテスト【思・判・表】 ・会話練習【主】【思・判・表】
後期	★助動詞 Unit6 Work Experience ・職場で体験したことや感想などを読み取ることができる。 ・職場で体験したことや感想などを伝える、レポートを書くことができる。 ★He's here to help you./~because.../I'm glad to hear 不定詞（形容詞的用法・副詞的用法）・接続詞	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・小テスト【思・判・表】 ・リスニングテスト【思・判・表】 ・会話練習【主】【思・判・表】
	Let's Read2 Meet Hanyu Yuzuru World Tour2 世界を舞台に働く人 ・職業診断のチャートを作ろう。	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・小テスト【思・判・表】
	Unit7 Amazing Australia ・観光紹介の記事から、おおまかな情報を聞き取ることができる。 ・町の名所や名物などを伝える紹介文を書くことができる。 ★比較級、最上級、as~as	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・小テスト【思・判・表】 ・リスニングテスト【思・判・表】 ・会話練習【主】【思・判・表】
	・観光案内・比較表現 Unit8 Staging a Musical ・学校新聞から作品紹介のおおまかな内容を読み取ることができる。 ★were written by / make me nervous / want you to do 受け身の文	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・小テスト【思・判・表】 ・リスニングテスト【思・判・表】 ・会話練習【主】【思・判・表】
	Let's Read 3:Emojis-From Japan to the world World Tour3:世界遺産 You Can Do It 3:日本のおもしろいものを紹介しよう。 Let's Read More 1 : The Statue of Liberty Let's Read More 2 : Aboriginal Art	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・小テスト【思・判・表】

4. 学習方法についてのアドバイス

学校	・積極的に授業に参加する。 ・音読に取り組む。声を出す。 ・分からないところは早めに質問するなどして解決する。
家庭	・単元の予習・復習をしっかりと行う。 ・教科書の音読練習を毎日する。 ・単語を覚えるまで、しっかりと取り組む。

第3学年 英語科

1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>○外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけるようにする。</p> <p>○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について外国語で簡単な情報や考え方などを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
使用教材	<p>教科書：HERE WE GO 1 光村図書</p> <p>補助教材：HERE WE GO 3 ワークブック</p>

2. 評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
知識・技能	<p>【言語活動への取り組み】</p> <p>○相手の話を積極的に聞いたり、聞き返したりする。</p> <p>○英語を用いて、聞き手にわかりやすいように工夫している。</p> <p>○問答したり意見を述べ合ったりしている。</p> <p>【コミュニケーションの継続】</p> <p>○相手と、積極的にコミュニケーションを図り、伝えようとする。</p> <p>○相槌をうったりメモを取ったりする。</p> <p>○間違うことを恐れず積極的に自分の考えを話している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動や、コミュニケーション活動の時間にどのように活動しているか。 ・自学習ノート
思考・判断・表現	<p>【聞くこと】</p> <p>○自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞き、必要な情報を正確に聞き取り、内容を理解する。</p> <p>○基本的な英語の発音の特徴をとらえ、正しく聞き取る。</p> <p>【読むこと】</p> <p>○文字や符号を識別し、正しく読むことができる。</p> <p>○目的に応じて英語を適切に読んで理解することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リスニングテスト ・音読テスト ・定期試験 ・提出物の内容
主体的に学習に取り組む態度	<p>【話すこと】</p> <p>○正しい姿勢、イントネーション、区切りなどを用いて話すことができる。</p> <p>○語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく話すことができる。</p> <p>○聞き手を意識して、強調したり繰り返したりして話すことができる。</p> <p>【書くこと】</p> <p>○語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく書くことができる。</p> <p>○内容的にまとまりのある文章を書くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音読テスト ・作文 ・スピーチ ・暗唱 ・定期試験 ・提出物の内容

3. 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
前期	Unit 1 School Life Around the World ・学校紹介の記事から、日本の学校との違いを読み取ることができる。 ・読んだ記事について、意見を発表することができる。	・教科書の音読チェック【理】【表】【知】 ・単語テスト【知】 ・小テスト【表】【理】 ・リスニングテスト【理】 ・会話練習【コ】【理】【表】
	Unit 2 Our School Trip ・会話から、おすすめの世界やしたことなどを聞き取ることができる。 ・おすすめの世界について、教え合うことができる。	・教科書の音読チェック【理】【表】【知】 ・単語テスト【知】 ・小テスト【表】【理】 ・リスニングテスト【理】 ・会話練習【コ】【理】【表】
	Unit 3 Lessons From Hiroshima ・文章から、人物の経験や心情などを読み取ることができる。 ・読んだ文章について、感じたことなどを発表することができる。	・教科書の音読チェック【理】【表】【知】 ・単語テスト【知】 ・小テスト【表】【理】 ・リスニングテスト【理】 ・会話練習【コ】【理】【表】
	Let's Read From the Diary of Kawamoto Itsuyoshi ・日記から出来事や気持ちを読み取り、筆者について想像したことなどを伝え合うことができる。	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・小テスト【思・判・表】
	Unit 4 AI Technology and Language ・投稿文から、それぞれの意見の要点を読み取ることができる。 ・読んだ投稿文について、感想や自分の意見を書くことができる。	・教科書の音読チェック【理】【表】【知】 ・単語テスト【知】 ・小テスト【表】【理】 ・リスニングテスト【理】 ・会話練習【コ】【理】【表】
	Let's Read 2 Robots Make Dreams Come True ・説明文の要旨を読み取り、自分の考えを伝え合うことができる。	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・小テスト【思・判・表】
後期	Unit5 Plastic Waste ・プレゼンテーションから、話の流れを読み取ることができる。 ・読んだプレゼンテーションについて、感想や考えを伝え合うことができる。	・教科書の音読チェック【理】【表】【知】 ・単語テスト【知】 ・小テスト【表】【理】 ・リスニングテスト【理】 ・会話練習【コ】【理】【表】
	Unit6 The Chorus Contest ・絵の説明から、場面や状況を聞き取ることができる。 ・絵にふさわしいせりふを考えて、発表することができる。	・教科書の音読チェック【理】【表】【知】 ・単語テスト【知】 ・小テスト【表】【理】 ・リスニングテスト【理】 ・会話練習【コ】【理】【表】
	Unit7 Tina's Speech ・スピーチから、話し手がいちばん伝えたいことを聞き取ることができる。 ・今の自分の様子を伝える、スピーチをすることができる。	・教科書の音読チェック【理】【表】【知】 ・単語テスト【知】 ・小テスト【表】【理】 ・リスニングテスト【理】 ・会話練習【コ】【理】【表】
	Let's Read 3 Changing the World ・スピーチから話し手の主張を読み取り、自分の考えを伝え合うことができる。	・教科書の音読チェック【思・判・表】 ・単語テスト【知・技】 ・小テスト【思・判・表】
	Unit8 Goodbye, Tina ・手紙から、書き手のいちばん伝えたいことを読み取ることができる。 ・自分の気持ちを伝える、手紙を書くことができる。	・教科書の音読チェック【理】【表】【知】 ・単語テスト【知】 ・小テスト【表】【理】 ・リスニングテスト【理】 ・会話練習【コ】【理】【表】

4. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業に参加する。 ・音読に取り組む。声を出す。 ・分からないところは早めに質問するなどして解決する。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の予習・復習をしっかりと行う。 ・教科書の音読練習を毎日する。 ・単語を覚えるまで、しっかりと取り組む。